

# 分布調査報告書(21)

1994

山形県教育委員会

# 分布調査報告書(21)

平成 5 年度以降 農林土木事業他 関係遺跡  
国営農地開発事業 烏海南麓地区関係遺跡  
東北横断自動車道酒田線関係遺跡

平成 6 年 3 月

山形県教育委員会

## 序

本書は、山形県教育委員会が平成5年度に実施した遺跡詳細分布調査の成果をまとめたものであります。

近年の開発事業の増加に伴い、地下に埋もれた埋蔵文化財との関わりも増加する傾向にあります。

さて、埋蔵文化財は、本来地域に密着したもので、ふるさと山形の個性豊かな文化の原点ともいえる貴重な遺産であり、私たちは、先人たちが育んできたこの遺産を大切に保護し、後世の人々に伝えてゆく責務をもっています。と同時に「未来に向けて発展する県土づくり」を目的とした各種開発事業は県民の豊かな生活に直接結びつく重要な事業です。

こうしたことから、山形県教育委員会では、伝統文化の継承と地域社会の整備との調整を図りながら、埋蔵文化財の保護に努力を続けてゆく所存であります。

本書が埋蔵文化財の保護についての皆様のご理解を頂くうえでの一助となれば幸いです。

最後になりましたが、調査に際しましてご協力をいただきました関係各位に心から感謝申し上げます。

平成6年3月

山形県教育委員会

教育長 佐藤 進

## 例　　言

- 1 本書は、平成5年度に山形県教育委員会が国庫補助を受けて実施した、平成5年度以降農林土木事業関係遺跡他に関する遺跡詳細分布調査の報告書である。
- 2 調査および報告書の作成は、山形県教育庁文化課の渋谷孝雄・長橋　至・佐藤正俊の3名が担当した。
- 3 本書の編集は長橋　至・渋谷孝雄が担当した。
- 4 第1章に遺跡一覧、第2章に個々の遺跡の内容を記した。新規発見遺跡・抹消遺跡・範囲・位置・名称の変更については、本書の発行をもって周知されたものとする。
- 5 採図の縮尺は不統一である。各図毎にスケールを示した。遺跡位置図は国土地理院発行の2万5千分の1の地図を使用した。ただし、第2章2以下については、これをさらに縮小して使用した。第2章1の遺跡地名表の番号は当該事業内の遺跡位置図中の番号と一致する。  
採図および文中の記号は、黒丸・T（トレント）・TT（テストトレント）TP（テストピット＝ $1 \times 1$  mの試掘区）は試掘地点、赤色部分は遺構・遺物検出地点、遺跡位置図中の赤色部分は遺跡範囲、RP－土器・ST－堅穴住居跡・SE－井戸跡・SK－土壙・SD－溝跡・SP・EP－柱穴・SX－性格不明遺構・SG－旧河川跡を示す。  
図版の遺物は2分の1・3分の1を基本とした。
- 6 調査にあたっては、関係各機関・市町村教育委員会および地元関係者のご協力を得た。記して謝意を表する。

# 目 次

I 調査の目的、方法と経過	
1. 調査の目的、方法.....	1
2. 調査の経過.....	1
II 調査の概要	
1 遺跡地名表	
(1)県農林事業関係遺跡 .....	4
(2)一般国道建設・改良関係遺跡 .....	10
(3)県道建設・改良事業関係遺跡 .....	10
(4)砂防関係遺跡 .....	16
(5)国営農地開発事業関係遺跡 .....	16
2 試掘調査の概要	
(1)西ノ川遺跡 .....	18
(2)宮の前遺跡 .....	20
(3)家根合遺跡 .....	24
(4)嶽の腰5遺跡 .....	26
(5)月岡台の倉庫跡 .....	28
(6)横岫櫛跡 .....	30
(7)水沢館跡 .....	32
(8)石倉館跡 .....	34
(9)岡村遺跡 .....	36
(10)清水脇2遺跡 .....	38
(11)廻り屋遺跡 .....	40
(12)植木場一遺跡 .....	42
(13)弓張平O遺跡 .....	44
(14)河原田遺跡 .....	46
(15)上谷地b遺跡 .....	48
3 記録保存調査・立会い調査の概要	
(1)ソリメA遺跡 .....	50
(2)県営ほ場整備事業高瀬川地区関係遺跡 .....	54
(3)郷崎遺跡 .....	58
(4)小四王原A遺跡 .....	60
(5)下柳A遺跡 .....	62
(6)小川内遺跡 .....	68
(7)大浦C遺跡 .....	74
(8)藤島城跡 .....	78
(9)生石2遺跡 .....	82
III まとめ	
1 新規発見遺跡.....	84
2 範囲、位置、名称の訂正を要する遺跡.....	84
表-1 平成5年度分布調査遺跡一覧.....	2
表-2 調査工程表.....	3
表-3 掲載遺跡位置図(2万5千分の1)索引.....	85

## 挿図目次

第1図	県農林関係遺跡位置図(1).....	6
第2図	県農林関係遺跡位置図(2).....	7
第3図	一般国道改良事業関係遺跡位置図.....	10
第4図	県道建設・改良事業関係遺跡位置図(1).....	12
第5図	県道建設・改良事業関係遺跡位置図(2).....	13
第6図	砂防・国営農地開発事業鳥海南麓地区関係遺跡位置図.....	16
第7図	西ノ川遺跡概要図.....	18
第8図	宮の前遺跡概要図.....	20
第9図	宮の前遺跡遺構配置図.....	21
第10図	宮の前遺跡土層断面図.....	22
第11図	家根合遺跡概要図.....	24
第12図	嶽の腰5遺跡位置図.....	26
第13図	月岡台の倉橋跡概要図.....	28
第14図	横岫城跡概要図.....	30
第15図	水沢館跡概要図.....	32
第16図	石倉館跡概要図.....	34
第17図	岡村遺跡概要図.....	36
第18図	清水脇2遺跡概要図.....	38
第19図	廻り屋遺跡概要図.....	40
第20図	植木場一遺跡概要図.....	42
第21図	弓張平O遺跡概要図.....	44
第22図	河原田遺跡概要図.....	46
第23図	上谷地b遺跡概要図.....	48
第24図	ソリメA遺跡概要図.....	50
第25図	ソリメA遺跡遺構配置図.....	51
第26図	ソリメA遺跡遺構土層断面図.....	52
第27図	高瀬川地区調査概要図(1).....	54
第28図	高瀬川地区調査概要図(2).....	55
第29図	高瀬川地区(野瀬遺跡遺構実測図).....	56
第30図	郷崎遺跡概要図.....	58
第31図	小四王原A遺跡概要図.....	60
第32図	下柳A遺跡概要図.....	62
第33図	下柳A遺跡遺構配置図.....	63
第34図	下柳A遺跡住居跡(1).....	64
第35図	下柳A遺跡住居跡(2).....	65
第36図	小川内遺跡概要図.....	69
第37図	小川内遺跡遺構配置図.....	70
第38図	小川内遺跡住居跡.....	71
第39図	大浦C遺跡概要図.....	73
第40図	大浦C遺跡遺構配置図(1).....	75
第41図	大浦C遺跡遺構配置図(2).....	76
第42図	藤島城跡概要図.....	78
第43図	藤島城跡遺構配置図.....	79
第44図	藤島城跡全体図.....	80
第45図	生石2遺跡概要図.....	82

## 図版目次

図版 1	県農林関係遺跡(1).....	7
図版 2	県農林関係遺跡(2).....	8
図版 3	県農林関係遺跡(3).....	9
図版 4	一般国道改良事業関係.....	10
図版 5	一般国道改良事業関係.....	11
図版 6	県道建設・改良事業関係遺跡(1).....	14
図版 7	県道建設・改良事業関係遺跡(2).....	15
図版 8	県道建設・改良事業関係遺跡(3).....	16
図版 9	県道建設・改良事業関係遺跡(4).....	17
図版10	砂防関係遺跡.....	17
図版11	国営農地開発関係遺跡.....	17
図版12	西ノ川遺跡.....	19
図版13	宮の前遺跡.....	23
図版14	家根合遺跡.....	25
図版15	嶽の腰遺跡.....	27
図版16	月岡台の倉廩跡.....	29
図版17	横軸廩跡.....	31
図版18	水沢廩跡.....	33
図版19	石倉廩跡.....	35
図版20	岡村遺跡.....	37
図版21	清水駒 2 遺跡.....	39
図版22	廻り屋遺跡.....	41
図版23	植木場一遺跡.....	43
図版24	弓張平〇遺跡.....	45
図版25	河原田遺跡.....	47
図版26	上谷地 b 遺跡.....	49
図版27	ソリメ A 遺跡.....	53
図版28	高瀬川地区立ち会い調査.....	57
図版29	郷崎遺跡.....	59
図版30	小四王原 A 遺跡.....	61
図版31	下柳 A 遺跡(1).....	66
図版32	下柳 A 遺跡(2).....	67
図版33	小川内遺跡(1).....	71
図版34	小川内遺跡(2).....	72
図版35	小川内遺跡(3).....	73
図版36	大浦 C 遺跡.....	77
図版37	藤島城跡.....	81
図版38	生石 2 遺跡.....	83

## I 調査の目的、方法と経過

### 1 調査の目的、方法

本調査は、平成6年度以降に実施予定となる開発計画等に先行して、埋蔵文化財包蔵地(遺跡)の詳細な分布調査を行い、遺跡の所在、範囲、性格を明らかにし、開発計画との調整をとって、遺跡の保護を図ることを目的とした。なお、一部、前年度、あるいは今年度の調査結果に基づき、記録保存のための小規模な発掘調査と立会い調査も実施した。調査は、その目的によって、以下の方法で実施した。

#### (1) A調査(現地確認調査・表面踏査)

開発事業計画範囲内の表面踏査を行い、遺跡の範囲と事業実施計画区域の平面的な関係を確認し、遺跡の保護を図ることを目的とする。

#### (2) B調査(試掘調査)

坪掘りやトレッチ掘りを行って遺構や遺物の平面的な分布範囲や、遺構確認面までの深さ等を把握して、開発事業計画との調整をとて遺跡の保護を図ることを目的とする。

#### (3) C調査(記録保存のための発掘調査)

A・B調査の結果、遺跡の保存状態が良好でない場合や、開発事業にかかる面積が狭い場合や接する場合に、必要に応じて実施する記録保存の調査。方法は発掘調査に準ずる。

#### (4) 立会い調査

開発事業による遺跡への影響が軽微な場合、工事施工に立ち会って実施する調査。この調査によって、遺構や遺物が発見された場合には記録保存を行う。

#### (5) 埋蔵文化財包蔵地基礎調査

「山形県遺跡地図」(昭和53年版)に登録された遺跡、及びその後に発見・登録された遺跡の内容の補筆を行い、合わせて、遺跡の有無を確認し、将来の各種開発計画に備えることを目的とする調査。調査方法は表面踏査である。

### 2 調査の経過

山形県教育委員会では、毎年6~7月に開発関係各機関に、今後の事業計画についての照会を行い、その回答を受けて、7月中旬にヒアリングを実施し、事業計画と埋蔵文化財包蔵地との関係について検討している。そして、この結果に基づいて、必要に応じて分布調査を実施し、事業との調整を図っている。そのほか、開発関係各機関から提出された埋蔵文化財分布調査依頼に基づく調査も随時行っている。今年度の調査は、平成5年4月から平成6年1月まで表-2の工程で、表-1に示した各遺跡の調査を実施した。なお、今年度新規登録した遺跡、位置、範囲、遺跡名の訂正した遺跡はIII章に示した。

表一 平成5年度分布調査遺跡一覧

	事業名	事業地区名	遺跡名	調査区分			
				A	B	C	立会い
1 県営ほ場整備事業		下川地区	西ノ川遺跡	○	○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
		富並地区	宮の前遺跡				
		玉野地区	ソリメA遺跡				
		高瀬川地区	野瀬遺跡				
		〃	田中遺跡				
		〃	地藏田遺跡				
		〃	上山崎遺跡				
2	総合整備事業	堰場地区	堰場遺跡	○	○		
3	ため池等整備事業	玉川第2ため池	小出沢A・B・C遺跡	○			
4	農村基盤整備総合パイロット事業	刈穂地区	郷崎遺跡			○	
5 一般農道整備事業		長瀬西部2期	八反遺跡	○			
		〃	長瀬本楯遺跡	○			
		余目南部2期	家根合遺跡	○			
6 広域農道整備事業		村山東部地区	渡戸遺跡	○			
		〃	荒井原窯跡	○			
7 農免農道整備事業		大倉地区	白山堂遺跡	○			
		〃	矢島遺跡	○			
		米沢南部3期	下原a遺跡	○			
8 ふるさと農道緊急整備事業		二井宿地区	鰐ヶ越戸洞穴遺跡	○			
		〃	志田館跡	○			
		楨橋地区	楨橋楯跡	○			
9 農業公社牧場設置事業 畜産試験場芦沢放牧場整備事業		高岡地区	小四王原A遺跡	○	○	○	
		芦沢地区	南野B遺跡				
10 国営鳥海南麓地区農地開発事業 国営鳥海南麓地区農地開発事業		嶽の腰(1)工区	嶽の腰5遺跡	○			
		小倉山工区	小倉山遺跡			○	
11 東北横断自動車道酒田線建設		寒河江月山間	月岡台の倉楯跡	○			
		〃	横岫楯跡	○			
		〃	水沢館跡	○			
		〃	石倉館跡	○			
		朝日酒田間	岡村遺跡			○	
12 一般国道47号新庄南バイパス 一般国道47号新庄南バイパス 一般国道112号白岩バイパス 一般国道13号山形北バイパス			外久保遺跡	○			
			新町後遺跡	○			
			富沢I遺跡			○	
			清水脇2遺跡	○			
13 国道287号道路改良 国道345号道路改良 主要地方道山形上山線 主要地方道山形天童線			廻り屋遺跡	○			
			徳田山遺跡	○			
			天神山遺跡	○			
			下柳A遺跡	○			

	事業名	事業地区名	遺跡名	調査区分			
				A	B	C	立会い
13	主要地方道大江西川線 主要地方道大江西川線 一般県道大久保橋岡停車場線 一般県道芦沢大石田停車場線 一般県道砂小沢又釜淵停車場線 一般県道網木西米沢停車場線交通安全施設 一般県道網木西米沢停車場線交通安全施設 一般県道南陽川西線 一般県道米沢浅川高畠まちづくり総合事業 一般県道金谷置賜停車場線 一般県道網木西米沢停車場線交通安全施設		栗の木原遺跡 滝ノ沢遺跡 八反稻干原遺跡 鷹の巣館跡 小川内遺跡 吹星敷遺跡 宝殿神社遺跡 植木場一遺跡 大浦C遺跡 金谷館跡 大代原遺跡	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○ ○
14	耳室川荒廃砂防夕砂防工事 岩ヶ沢川荒廃砂防工事	小山沢地区 西根地区	中丸遺跡 岩ヶ山遺跡		○ ○		
15	都市計画公園整備事業	弓張平公園	弓張平O遺跡		○		
16	住宅団地分譲事業	今塚地区	河原田遺跡		○		
17	産振校舎新築・グランド工事 県立高等学校自転車置場設置工事	米沢工業高校 庄内農業高校	上谷地b遺跡 藤島城跡		○ ○		
18	酒田警察署東酒田警察官駐在所		生石2遺跡			○	

表-2 調査工程表

調査区分	平成5年								平成6年	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~3月
平成5年度以降 農林土木事業他	A		-		-	-	-	-	-	
	B	-		-		-		-	-	
	C 立会い		-	-	-	-	-	-	-	
国営農地開発事業 島海南麓地区	B		-					-		
	C									
東北横断自動車道 酒田線建設	B		-				-			
報告書作成										

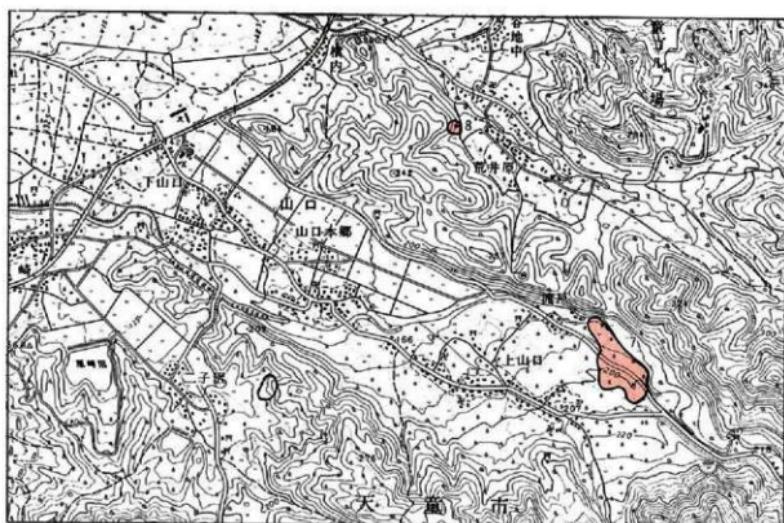
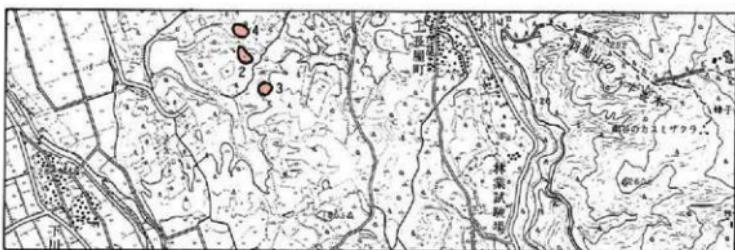
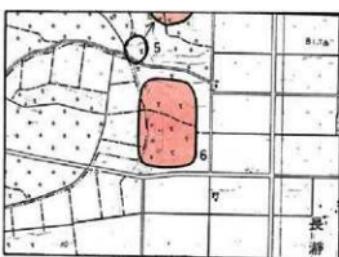
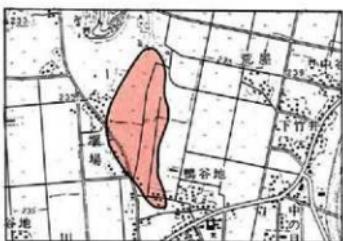
## II 調査の概要

### 1 調査遺跡地名表

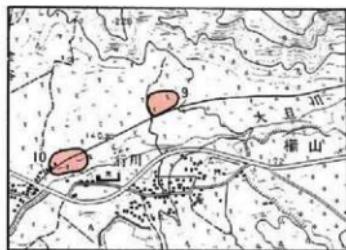
#### (1) 県農林事業関係遺跡

No.	種別	遺跡名	所 在 地	時 期	立 地	地 目
1	散布地	糠 場	米沢市大字川井字道下 出沢	奈良時代 平安時代 中世	平 地 (235m)	水 田
2	包蔵地	小 出 游 A	東田川郡羽黒町大字手向字小 出沢	繩文時代	台 地 (140m)	山 林
3	包蔵地	小 出 游 B	東田川郡羽黒町大字手向字小 出沢	繩文時代	台 地 (150m)	山 林
4	散布地	小 出 游 C	東田川郡羽黒町大字手向字小 出沢	繩文時代	台 地 (135m)	烟 地
5	散布地	八 韻	東根市大字長瀬字株川	平安時代	自然堤防 (82m)	烟 果 樹 地 園
6	城館跡	長瀬 本 植	東根市大字長瀬字本植	中 世	平 地 (80m)	烟 果 樹 地 園 田
7	散布地	糞 戶	天童市大字山口字坊所	繩文時代	段 丘 (185m)	烟 果 樹 地
8	窯 跡	荒 井 原 窯 跡	天童市大字荒井原字荒井原	平安時代	山 蔽 (183m)	果 樹 地
9	散布地	白 山 堂	村山市大字林崎字大尻皿	繩文時代 奈良時代	段 丘 (145m)	烟 果 樹 地 園
10	集落跡	矢 島	村山市大字攝山字手塚森	繩文時代 (早~ 前期)	段 丘 (132m)	宅 烟 地 地
11	散布地	下 原 a	米沢市大字三沢字中瀬戸	繩文時代 (前期)	段 丘 (279m)	水 田 烟 地 地
12	住居跡	縄ヶ越戸 洞穴	東置賜郡高畠町大字安久津字 縄ヶ越戸	繩文時代 (中期)	山 腹 (332m)	山 林
13	城館跡	志 田 館	東置賜郡高畠町大字二井宿	中 世	山 頂 (371m)	山 林
14	城館跡	傳 橋 植	鮭海郡平田町大字傳橋	中 世	丘 蔽 (96m)	山 果 烟 林 樹 地

遺跡概要	出土遺物	備考
米沢駅北東約3kmに位置し、馬橋川右岸の自然堤防上に立地する。東西370m・南北1,100mの範囲である。過去には場整備実施済。		「米沢市遺跡地図」掲載。(No.342(昭和61年度))
羽黒第一小学校の南西約1.1kmに位置する。かつての開墾時に繩文土器、石器が出土した。現在は杉林となっており、遺物は未確認。		No.1805 平成2年度県教委試掘調査実施
小出沢A遺跡の南東200mに位置する。東西60m・南北90mの範囲と考えられる。かつての開墾時に遺物が出土した。遺物は今回未確認。		No.1806 平成2年度県教委試掘調査実施
小出沢A遺跡の北西約200mに位置する。東西50m・南北100mの範囲と考えられる。畠地内で繩文土器片2点を採取した。	繩文土器片	平成4年度登録
JR東根駅の北西4kmの自然堤防上に立地する。範囲は東西150m・南北560m、西緩斜面に土器片が散布。以前、斜面下で人骨出土。		No.723 平成5年度位置訂正
JR東根駅から北西3.2kmに位置する。東辺部に廻跡が明瞭に遺存している。西半部は過去の洪水で破壊か。範囲は東西250m・南北320m。		No.722
JR天童駅の北東約6km、押切川により形成された左岸の段丘上に立地する。東西200m・南北500mの範囲。遺物は今回未確認。		No.335
JR天童駅の北東約6kmに位置し、南向き山麓緩斜面に立地する。東西・南北とも30mの範囲と考えられる。ブドウ棚造成で一部破壊。	須恵器片	No.337
JR橋岡駅から北北東に3.5km、大旦川右岸の段丘上に立地する。範囲は東西100m・南北150m。畠地部分から剝片が採取された。	剝片	No.656
JR橋岡駅から北北東に3.2km、道林崎線沿いに位置する。範囲所の試掘を実施。今回調査対象地区大半が粘土採取で搅乱されていた。	繩文土器片、剝片、凹石	No.651 平成5年10月県教委試掘調査実施
飛上川右岸の段丘上に立地する。試掘坑・トレンチ調査の結果、今回対象とした部分では、遺構・遺物は未検出。		米沢市No.299 平成5年8月県教委試掘調査実施
高島町役場の北東約4.3kmの山腹に開口している洞穴。東西・南北30mの範囲である。遺物は今回未採取。		No.1266
二井宿跡・柏木峠からの分歧点部山頂に立地する山城、尾根筋に曲輪が10段認められる。山頂西側に低い土塁、山頂の主部に井戸跡がある。		平成5年度登録 県教委中世城館跡調査中。
樽橋集落の北東500mの丘陵上に位置すると考えられるが、現在標跡は特定できない。戦前戦後の石油開発で旧地形が不明となっている。		平成5年度登録 県教委中世城館跡調査中。(参考・筆談余里)



第1図 県農林事業関係遺跡位置図(1)



第2図 県農林関係遺跡位置図(2)



壙場遺跡近景（南から）



小出沢A遺跡遠景（北から）



小出沢B遺跡遠景（北西から）



小出沢C遺跡近景（南西から）

図版I 県農林関係遺跡(1)



小出沢遺跡採取遺物



八反遺跡近景（南北から）



長瀬本柵近景



渡戸遺跡近景（南西より）



荒井原塙遺跡近景（南東から）



荒井原塙遺跡採取遺物



白山堂遺跡近景（南西から）



白山堂遺跡採取遺物

図版2 県農林関係遺跡(2)



矢島遺跡近景（南西から）



矢島遺跡出土遺物



下原a遺跡近景（西から）



下原a遺跡出土遺物



鶴ヶ越戸洞穴（南西から）



鶴ヶ越戸洞穴採集遺物



志田鎧石塙（東から）

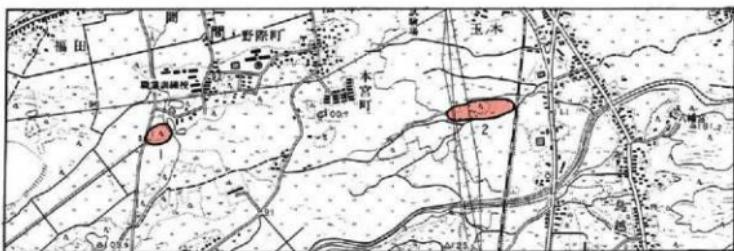


格橋插跡近景（南から）

図版3 県農林関係遺跡(3)

(2) 一般国道建設・改良事業関係遺跡

No.	種別	遺跡名	所 在 地	時 期	立 地	地 目
1	包蔵地	外久保	新庄市大字仁間字磯の沢	縄文時代 (早・中期)	扇状地 (87m)	水烟山 田林地
2	散布地	新町後	新庄市大字鳥越字新町後・本宮後	縄文時代	段丘 (105m)	水烟 田地林
3	集落跡	富沢 I	寒河江市大字清水新田字富沢 107-1外	縄文時代 平安時代	段丘 (130m)	果樹 田地水



第3図 一般国道改良事業関係遺跡位置図

図版4 一般国道改良事業関係

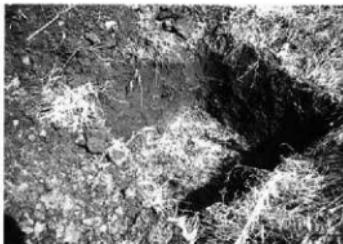
(3) 県道建設・改良事業関係遺跡

No.	種別	遺跡名	所 在 地	時 期	立 地	地 目
1	散布地	徳田山	鶴岡市松山町大字徳田字丸橋	縄文時代	丘陵 (25m)	水果荒 田樹地
2	山岳祭跡	天神山	山形市大字松原	古墳時代	丘陵 (132~177m)	山果樹 林園
3	集落跡	下柳 A	山形市大字青柳字上柳	古墳時代 中世	自然堤防 (107m)	水道宅 田路地

遺跡概要	出土遺物	備考
JR新庄駅の南西約3kmに位置し、新田川の脇に立地する。今回の試掘調査では、遺構・遺物は未検出である。		昭和63年度登録 平成3年4月・10月 平成5年9月試掘等
新庄市街地南側、玉ノ木地区南0.5km、JR奥羽本線西側に位置する。試掘調査では、遺構・遺物は今回も未検出である。		昭和56年度登録 平成4年11月・平成5年8月試掘実施
JR左沢線高松駅北西1.4km。計画路線内の果樹移植に伴う立会い調査を実施。移植時には遺構・遺物は未確認。		昭和62年度登録 平成5年度鶴岡文センター調査実施



新町後遺跡近景（東から）



新町後遺跡TP土層断面



富沢I遺跡立会い状況

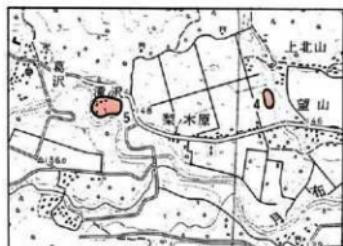
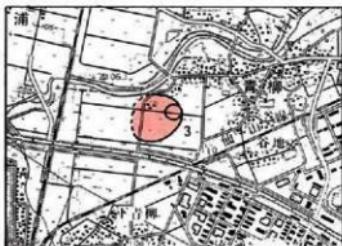
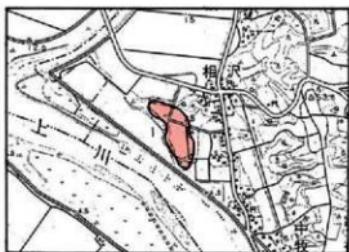


富沢I遺跡近景（西から）

図版5 一般国道改良事業関係

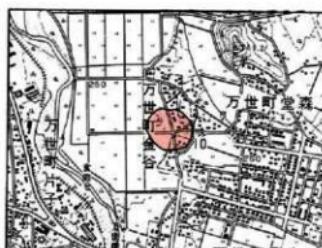
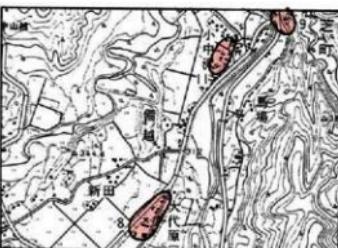
遺跡概要	出土遺物	備考
中牧田地区の南西約0.3km、最上川右岸の小丘陵に立地する。昭和30年代に開墾で地山まで大半が削平されている。遺構・遺物未確認。		No.2286 平成5年11月県教委 試掘調査実施
津金沢地区南側の丘陵上に東西150m・南北250mの範囲で位置する。東側部には巨石も認められる。		No.73
下脚地区北側仙山線と高瀬川の間に位置する。從来の下脚A遺跡の範囲を広くえた。高瀬川寄りで道路工事中に住居跡を検出した。	土師器・珠形系陶器	No.152 平成5年7月県教委 立会い調査実施

No.	種別	遺跡名	所 在 地	時 期	立 地	地 目
4	包蔵地	梨ノ木原	西村山郡大江町大字本郷字梨ノ木原	繩文時代	段丘 (147m)	烟地
5	散布地	滝ノ沢	西村山郡大江町大字本郷字下夕乙	繩文時代	段丘 (132m)	烟地
6	包蔵地	八反畠千原	村山市大字河島元塙川字八反畠千原	繩文時代 平安時代	平地 (80m)	烟荒地
7	城館跡	蘆の巣城跡	北村山郡大石田町大字蘆の巣	中世	段丘 (80m)	烟杉地林
8	散布地	吹屋敷	米沢市赤芝町字古屋敷	繩文時代	段丘 (300m)	宅烟地
9	散布地	宝殿神社	米沢市大字篠沢字殿原	繩文時代	段丘 (305m)	内地 墓山林・宅地
10	城館跡	金谷城跡	米沢市万世町金谷	繩文時代 中世	段丘 (260m)	田山公 林園
11	包蔵地	大代原	米沢市大字篠沢字大代原	繩文時代	段丘 (317m)	学校敷地



第4図 県道建設・改良事業関係遺跡位置図(1)

遺跡概要	出土遺物	備考
月布川左岸の段丘上に立地する。範囲は東西10m・南北70m。今回は道路予定地部分に3本のトレンチを設定。剝片が出土した。	剝片(トレンチ1点)表探4点	平成4年度登録 平成5年4月県教委試掘調査実施
月布川左岸の段丘上に立地する。範囲は当初東西180m・南北170mと考えられたが、道路予定部分の試掘の結果、80×35mの範囲となる。		平成4年度登録 平成5年4月県教委試掘調査実施
大旦川左岸、河島橋東方150mに位置する。今回は、道路予定部分に10箇所試掘区を設定。調査の結果、遺構・遺物は未検出。		平成元年度登録 平成5年9月県教委試掘調査実施
野尻川右岸、海谷地区北側約500mに位置する。今回は、道路予定部分(橋西端部)に、8箇所試掘区を設定。溝状遺構が部分的に検出された。		No843 平成5年9月県教委試掘調査実施
三沢東部小学校の北北東約1.4km、網木・小野川への分岐点に位置する。東西90m・南北100mの範囲、畑地に剝片が散布している。	剝片	米沢市No153
三沢東部小学校の北約1km、大椿川左岸の段丘上に立地する。範囲は東西100m・南北190m、かつて境内と南側宅地で剝片を採取。		米沢市No194
JR米沢駅から南東に約1.8km、110m四方の範囲となる。70・65・35mのトレンチ調査の結果、遺構・遺物は未検出。		米沢市a-61 平成5年11月県教委試掘調査実施
三沢東部小学校敷地を中心とする東西100m南北280mの範囲。道路予定地に9箇所のトレンチ・試掘区設定。遺構は未検出。	石器(鎧状石器2点)剝片	米沢市No168 平成5年9月県教委試掘調査実施



第5図 県道建設・改良事業関係遺跡位置図(2)



徳田山遺跡近景（東から）



徳田山遺跡TP2土層断面



天神山遺跡近景（東から）



下平A遺跡近景（北から）



梨ノ木原遺跡近景



梨ノ木原遺跡出土遺物



梅ノ沢遺跡近景（東から）



梅ノ沢遺跡出土遺物

図版 6 県道建設・改良事業関係遺跡（I）



八幡千原遺跡近景（西から）



八幡千原遺跡TP2土層断面



黒の巣塙跡近景（南から）



黒の巣塙跡TP5土層断面



吹屋敷遺跡近景（北から）



宝殿神社遺跡近景（北東から）



金谷塙跡近景



金谷塙跡TT土層断面

図版7 県道建設・改良事業関係遺跡(2)



金谷橋跡出土遺物

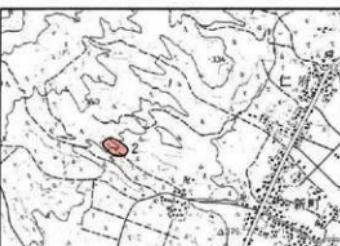
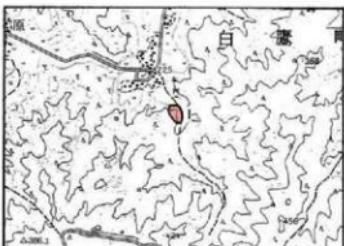


大代原遺跡近景

図版8 県道建設・改良事業関係遺跡(3)

(4) 砂防関係遺跡地名表

No.	種別	遺跡名	所 在 地	時 期	立 地	地 目
1	散布地	中丸	西置賀郡白鷹町大字小山沢字中丸	平安時代	山腹 (119m)	烟地
2	散布地	岩ヶ沢山	長井市大字草岡字岩ヶ沢	繩文時代	段 (290m)	烟草地



(5) 国営農地開発事業（島海南麓地区）

No.	種別	遺跡名	所 在 地	時 期	立 地	地 目
1	散布地	小倉山	酒田市大字北沢字鹿尾山	繩文時代 弥生時代 平安時代	山腹 (200m)	山林



小倉山遺跡近景（南から）



大代原遺跡TP6土層断面

図版9 県道建設・改良事業関係遺跡(4)



大代原遺跡出土遺物

遺跡概要	出土遺物	備考
白鷹町小山沢地区から南へ約500m、耳堂川の沢の左岸の平場に位置する。7箇所の試掘区を設定。対象部分は畑地造成時削平されている。		No1464 平成5年4月県教委 試掘調査実施
長井市新町地区から西に約1km、岩ヶ沢川左岸の緩傾面の段丘上に立地する。4箇所の試掘区を設定。対象部分は畑地造成時開墾された。		長井市No19 平成5年9月県教委 試掘調査実施



中丸遺跡近景(東から)



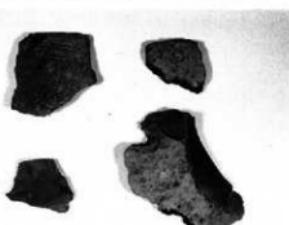
岩ヶ山遺跡近景(東から)

図版10 砂防関係遺跡

遺跡概要	出土遺物	備考
大平地区より南東へ750mに位置する。今回は、遺跡全域約300m <sup>2</sup> について表土を除去し調査を実施した。遺構は性格不明落ち込み2基。	弥生土器片、剥片	平成3年度登録 平成5年12月県教委 立会い調査実施



小倉山遺跡調査区



小倉山遺跡出土遺物

図版11 国営農地開発遺跡

## 2 試掘調査の概要

### (1) 西ノ川遺跡（平成4年度登録・集落跡）

所在 地 鶴岡市大字下川字西谷地

調査 員 長橋 至

調査 期 日 平成5年10月20・21日

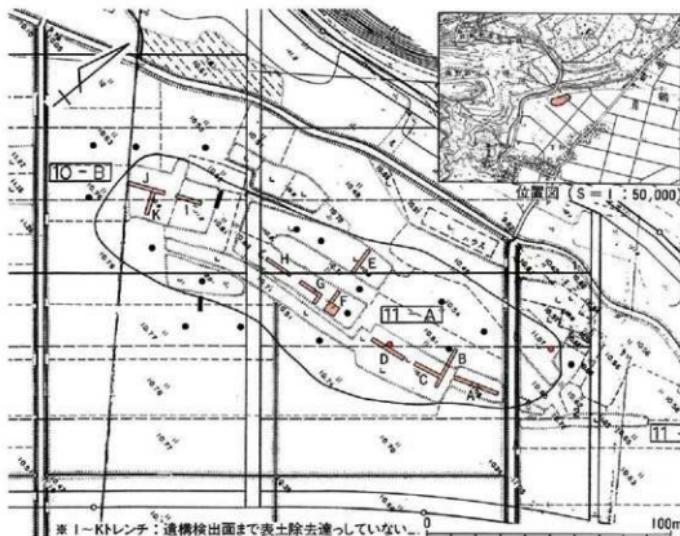
起因 事 業 県営ほ場整備事業（下川地区）

遺跡 環境 鶴岡市善宝寺北東約1kmに位置する。遺跡の中心部は畠地で、周辺部の水田は過去に削平を受けている。遺跡の中心部で標高は約11mを測る。

試掘 状 況 本遺跡については、平成4年度に試掘調査を実施している。今回は、さらに密に22の試掘区および12本のトレンチ（重機使用・延長160m）を設定し、遺跡の状況の把握に努めた。

調査 結 果 畠地のほぼ全域で遺構が検出された。主な遺構は土壙15、竪穴住居跡と考えられる土色変化1、柱穴多数、溝状遺構等。遺物は、平安時代の赤焼土器・須恵器片が整理箱1箱程出土した。

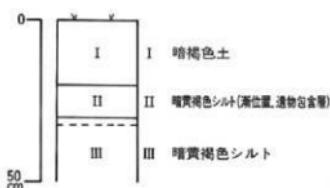
以上により、本遺跡は平安時代の集落跡が、周囲の削平された部分を除き、良好に遺存しているものと判断される。



第7図 西ノ川遺跡概要図



遺跡近景（北から）



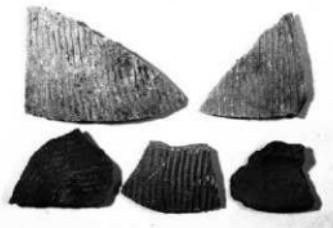
TTI 土層柱状図



Cトレンチ遺構検出状況



Fトレンチ遺構検出状況



出土遺物

図版12 西ノ川遺跡

(2) 宮の前遺跡 (遺跡番号615)

所 在 地 山形県村山市大字富並字宮の前

調 査 員 長橋 至・渋谷孝雄

調査期日 平成5年6月1~4日・18日・24~25日 8月10~11日

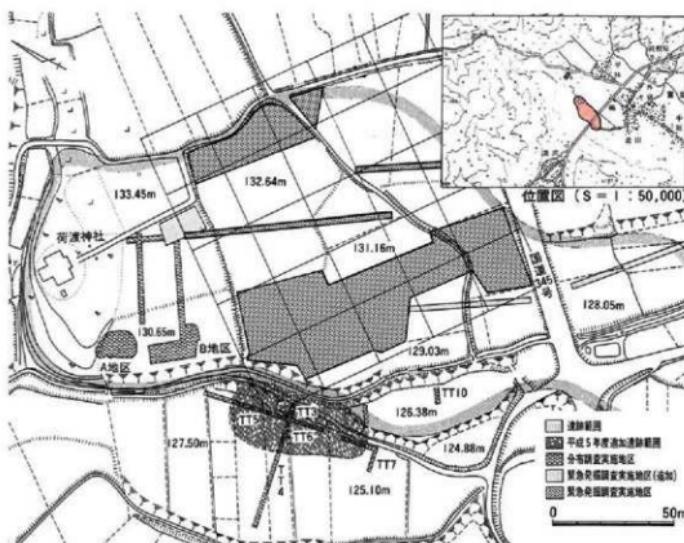
起因事業 県営ほ場整備事業(富並地区)

遺跡環境 富並川左岸の段丘上に立地する。平成5年度緊急調査実施。

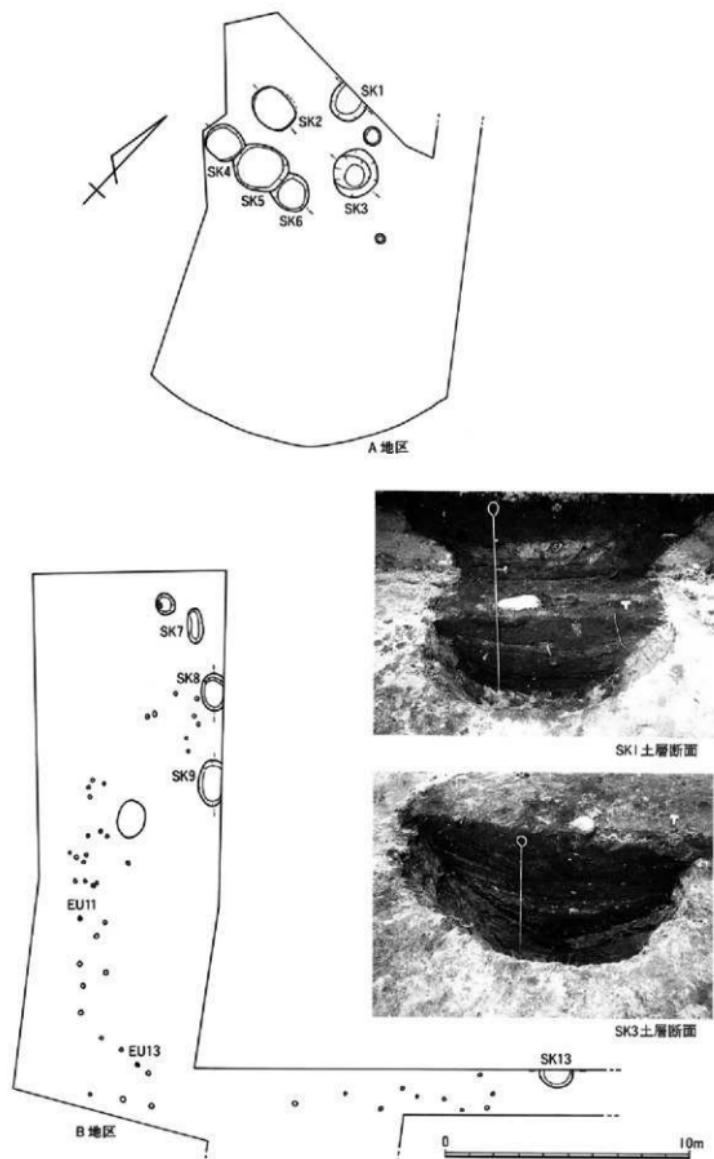
試掘調査 C地区(緊急発掘調査中に、当初遺跡外とした地点で大量の遺物が出土し、遺跡範囲の再確認のため実施。遺跡中心部から投棄された遺物の捨て場の様相を呈した。この地区は、盛り土となり、現状保存となった。)

立ち会調査 A・B地区(水路および当初工事計画外の削平部分を対象に実施。遺跡の南西部端にあたる地点。遺構・遺物は中心部に比し希薄である。A地区で土壙7基・ピット2基、B地区で土壙6基・ピット47基・埋設土器2基が検出された。土壙は、SK1~3・5のような大形で自然堆積の状況を呈するもの、SK8・13のようにやや小形で一時期に人為的に埋められた状況を呈するものなどのタイプがみられる。)

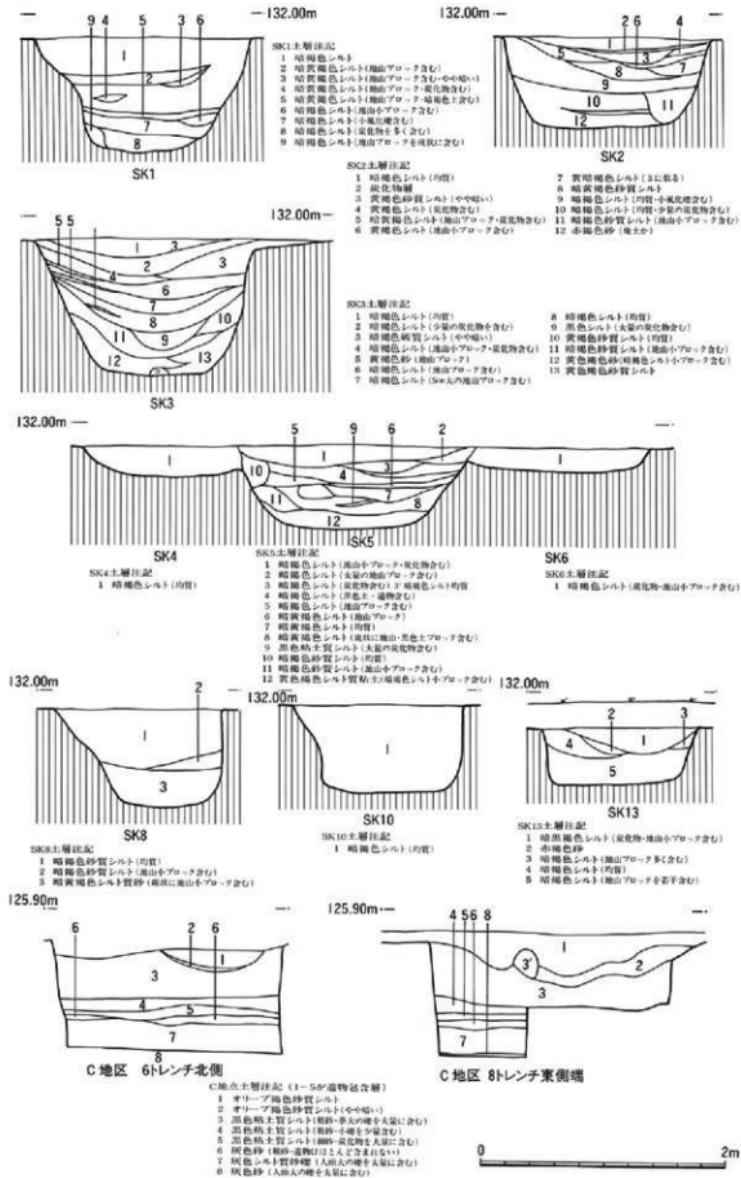
時期は、出土遺物から縄文時代晚期初頭から中葉と考えられる。



第8図 宮の前遺跡概要図



第9図 宮の前遺跡 A 地区



第10図 宮の前遺跡土層断面図



遺跡近景（南から）



TT6土層断面



TT3土層断面



C地区完掘状況



C地区SK2完掘状況



出土遺物



出土遺物



出土遺物

図版I3 宮の前遺跡

(3) 家根合遺跡 (遺跡番号1,706)

所 在 地 山形県東田川郡余目町大字家根合字五輪塚他

調 査 員 長橋 至

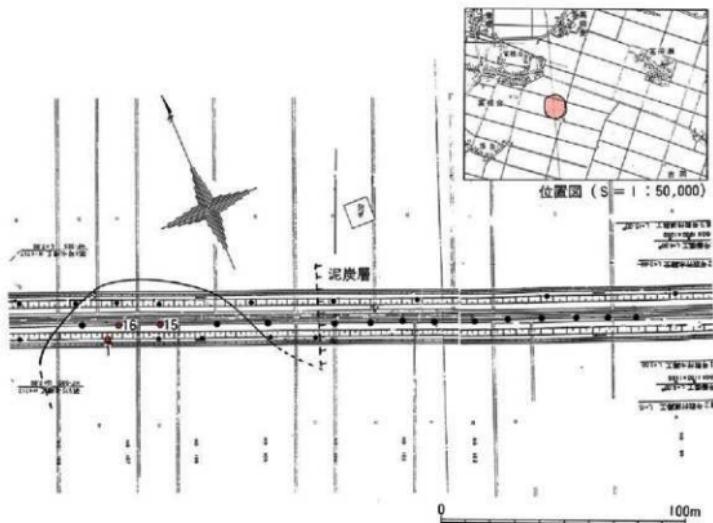
調査期日 平成5年11月29・30日

起因事業 一般農道整備事業(余目南部2期)

遺跡環境 余目町家根合地区南東500m、京田川右岸の自然堤防上に立地する。遺跡全域が水田である。標高は5.7mを測る。遺跡の中心は、今回の調査対象地区の南側となる(昭和20年代の新地整理時に平安時代の土器大量に出土)。

試掘状況 本遺跡については、平成4年11月に同事業による試掘調査を実施している。今回は昨年末調査部分を中心に試掘区を17設定し遺跡の状況を探った。

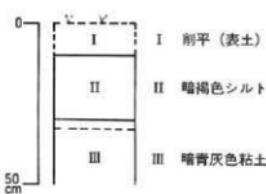
調査結果 調査対象地区は、本遺跡の最北端部にあたることが判明した。同時に、遺跡内計画路線東半部は1m以上の泥炭層の堆積が認められ、住居跡等の遺構の存在は考えられないことも明かとなった。西半部では、昨年の調査結果同様、比較的安定した地山が存在する。TP15からは縄文時代後期の所産と考えられる磨製石斧が1点出土した。平安時代の遺物は、TP16および周辺の水路等から採取された。



第11図 家根合遺跡概要図



遺跡近景（東から）



図版14 家根合遺跡

(4) 嶽の腰5遺跡(平成5年度新規)

所 在 地 山形県飽海郡遊佐町大字杉沢字嶽の腰

調 査 員 長橋 至・渋谷孝雄

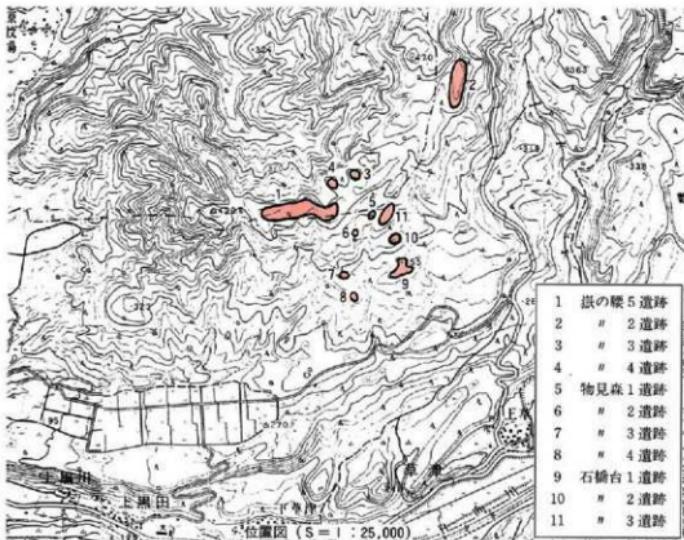
調 査 期 日 平成5年5月11~14日・18~21日・25~28日

起 因 事 業 国営農地開発事業鳥海南麓地区(嶽の腰1工区)

遺 蹤 環 境 JR羽越本線遊佐駅の東方約9kmの山中、標高400~410mを測る台地上の平坦部に立地する。周辺には嶽の腰2~4遺跡が点在している。2~4遺跡については平成4年度新規登録であるが、さらに追加の調査を実施し遺跡範囲の確認が必要である。

試 掘 状 況 嶽の腰4遺跡から南西へ約200m、東西400・南北100mの範囲の平坦部について試掘調査を実施した。試掘区は10~20mおきの126箇所である。

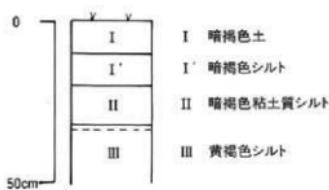
調 査 結 果 対象とした平坦部では、柱穴・土壙・落とし穴等が検出された。しかし、全城で構造が認められるわけではなく、また、地点が限定されて検出される状況でもない。樹木等により限定された調査のため、本遺跡についてはさらに、嶽の腰2~4同様に再度の試掘調査が必要である。なお、今回の調査についての詳細は、再調査の結果報告時に一括しておこなう。



第12図 嶽の腰遺跡概要図



遺跡近景（北から）



TP4 土層柱状図



TP86落とし穴



TP17ピット・土層断面



出土遺物

図版15 嵐の腰5遺跡

(5)月岡台の倉掘跡（平成4年度登録）

所 在 地 山形県西村山郡西川町大字月岡

調 査 員 長橋 至

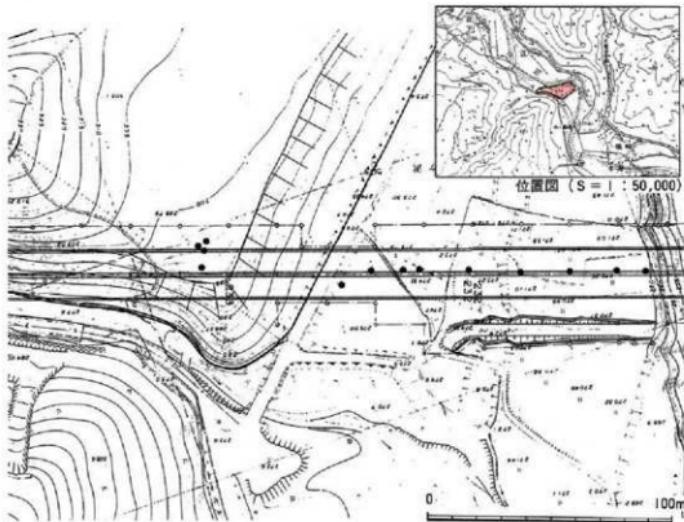
調査期日 平成5年11月 9日

起因事業 東北横断自動車道酒田線建設工事（寒河江月山沢間）

遺跡環境 寒河江川右岸の丘陵に立地する。頂部に15m程の平場、頂部東側に100m、南側に曲輪状の小さい平場（今回の調査対象地区）がある。

調査状況 立木伐採後、試掘調査に入ったが、材が未搬出のため、丘陵上では試掘区は4箇所に限定された。また、掘跡東側現水田部分については西川町教委の見解として「根小屋」の可能性が示唆されたため、この区域にも9箇所の試掘区を設定しその有無を調べた。

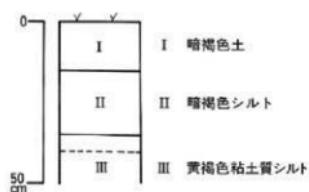
調査結果 丘陵上の試掘区では、遺構・遺物は未検出であった。なお、この地区については材の搬出後、再調査が必要である。「根小屋」とされた区域では、過去に個人による基盤整備が行われたとのことであった。それを裏付けるように地山の搅乱、切り土・盛り土が認められ、遺跡は確認されなかった。



第13図 月岡台の倉掘跡概要図



遺跡遠景（東から）



TP3 土層柱状図



遺跡近景（南から）



TP2 土層断面



TP10 土層断面

図版16 月岡台の倉柵跡

(6) 横岫標跡（平成4年度登録）

所 在 地 山形県西村山郡西川町大字横岫

調査員 長橋 至

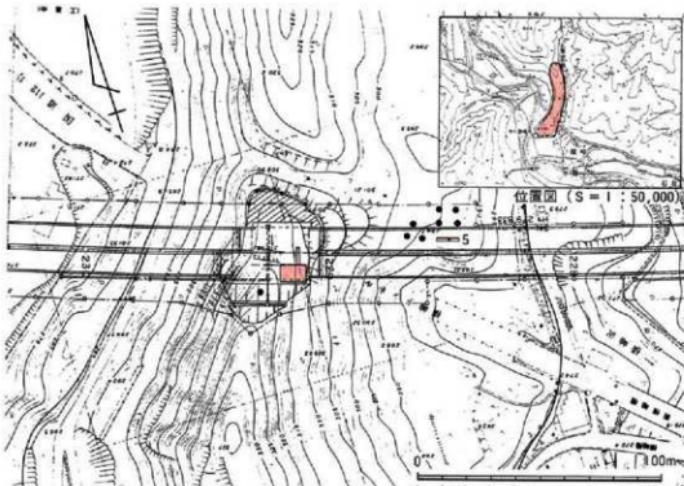
調査期日 平成5年11月10・11日

起因事業 東北横断自動車道酒田線建設工事（寒河江月山沢間）

遺跡環境 寒河江川左岸の丘陵に立地する。中心部は、過去の土取りで破壊されている。旧六十里越え街道の番所跡（伝）の石組がみられる。

調査状況 立木伐採後、試掘調査に入ったが、曲輪の一部については材が未搬出のため試掘はできなかった。路線内の頂部・番所跡・下段の平場について試掘区・トレンチ11箇所設定した。

調査結果 旧番所跡では、 $9 \times 5$ mの範囲で40個前後の大型の砾が規則的に配列されている。番所跡の位置する平坦部にはそれ以外の遺構は存在しないと考えられる。下段の平場は、現国道112号線横岫トンネルにより大半が削平されている。遺存した平場の南側TP5で土壤が1基検出された。  
今回の調査対象区では、曲輪状の平場、旧六十里越え街道、旧番所跡が遺存していることが明らかになった。



第14図 横岫標跡概要図



遺跡遠景（南西から）



TP5 土層柱状図



遺跡近景（西から）



TP5検出土塊・土層断面



伝・番所跡礫石

図版17 横嶋遺跡

(7) 水沢館跡 (平成4年度登録)

所 在 地 山形県西村山郡西川町大字水沢

調 査 員 長橋 至

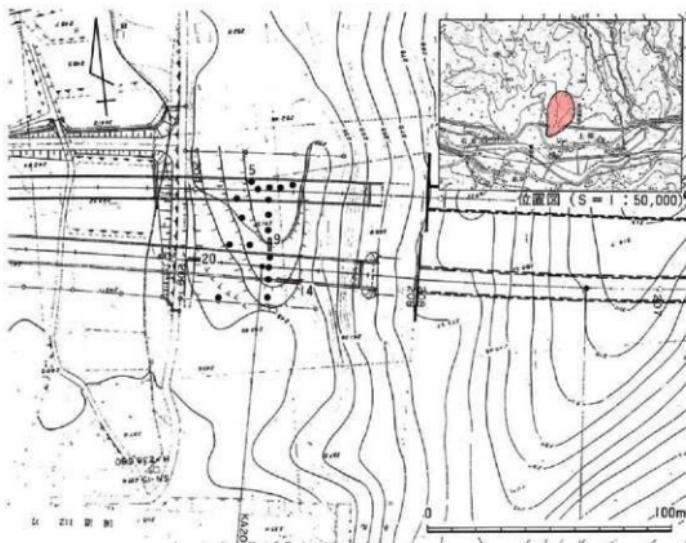
調 査 期 日 平成5年11月15・16日

起 因 事 業 東北横断自動車道酒田線建設工事(寒河江月山沢間)

遺 蹤 環 境 寒河江川左岸の丘陵に立地する。標高343~241m、館西側が地滑り地形で緩斜面となり館跡の境界となる。本館跡については、県教委実施の中世城館跡調査で詳しく取り上げられている。

調 査 状 況 高速道路用地内約3,000平米について、試掘区17、トレンチ3本を設定した。曲輪・空堀・土塁等が良好に遺存している。

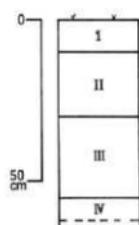
調 査 結 果 調査対象地区内では、曲輪が3段、東・西側に空堀各1箇所、西側境界部分に土塁状の盛り土が認められた。曲輪部分では、試掘の結果土色変化等の遺構は今回は未検出、中世の遺物の出土も認められなかった。曲輪2段目西側の一部で土止め用の石組が見られたが、館跡に直接関連するか検討をする。なお、今回の調査対象地区は、高速道のトンネル開口部から館跡内の西側部分としている。



第15図 水沢館跡概要図



遺跡近景（西から）



TP5 土層柱状図



TP5 土層断面



TT14 土層断面



TT20 土層断面

図版18 水沢館跡

(8) 石倉館跡 (平成4年度登録)

所 在 地 山形県西村山郡西川町大字石倉

調 査 員 長橋 至

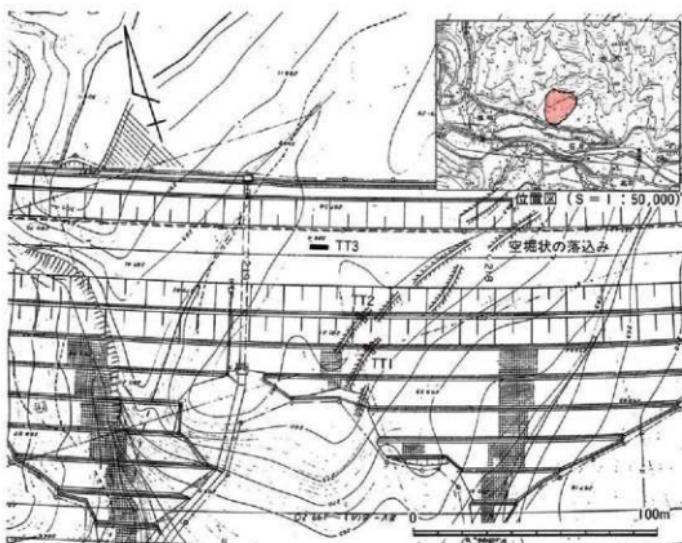
調査期日 平成5年11月11・12日

起因事業 東北横断自動車道酒田線建設工事 (寒河江月山沢間)

遺跡環境 寒河江川左岸の丘陵に立地する。標高275~285m、東西130m・南北50mの範囲に等高線と平行に空堀状の落ち込みが長さ30m・幅2~4mで10箇所程度認められる。

調査状況 空堀状の落ち込みのうち2箇所について落ち込みに直交する方向に1×7mのトレンチを設定し、試掘した。併せて、材の切り出し時に開削された土壠状の高まり部について法面を削り土層の観察をおこなった。

調査結果 空堀状の落ち込みは、底部に黒色土が、その上層に暗褐色土、さらにシルト質の暗褐色土が堆積しており、自然堆積の様相を呈している。空堀の下側の堆積土は山の礫で、空堀掘削後、盛り返したものとは考えられない。人工的な可能性はあるが、橋として周辺部を見た場合、曲輪等の施設が認められないと、網張り図作成等でさらに検討を要するものと考えられる。



第16図 石倉館跡概要図



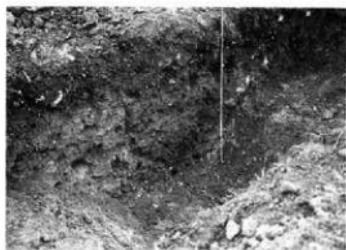
遺跡近景（東から）



TT1 中央土層柱状図



TT1 土層断面



TT2 土層断面



TT3 土層断面

図版19 石倉館跡

(9) おかわら岡村遺跡 (昭和63年度登録)

所 在 地 山形県東田川郡朝日村大字熊出字岡村

調 査 員 渋谷孝雄

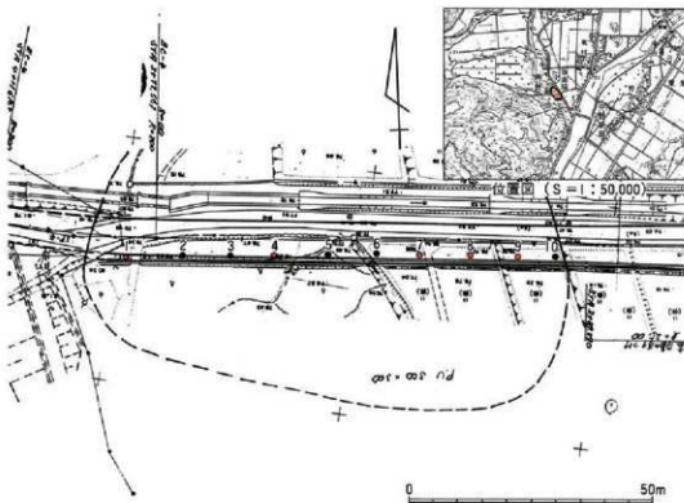
調 査 期 日 平成5年5月25日

起 因 事 業 東北横断自動車道酒田線建設工事櫛引工事区工事用道路建設

遺 跡 環 境 遺跡は朝日村役場の北北東方約1.8kmに位置し、標高77mの小丘状地に立地する。昭和63年度の県教委の分布調査で発見登録された縄文時代の遺跡である。現在の地目は山林や休耕田となっている。

調 査 状 況 今回の調査は現道を約6m拡幅して工事用道路とする事業計画との調整のために実施した。拡幅予定地内にはば10mおきに1×1mの試掘坑を合わせて11箇所設定し地山までの掘り下げを行い、堆積状況や遺物包含層、遺構の有無の確認を行った。

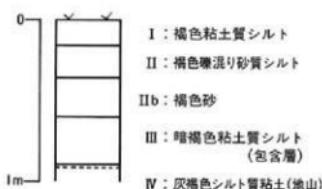
調 査 結 果 調査の結果、TP1、TP4、TP7、TP8、TP9の5箇所で縄文土器や剝片が1点から5点出土したが遺構の存在は確認できなかった。休耕田の部分は以前のほ場整備によって搅乱が著しく、部分的なものを含め1次的な包含層が残っている地区はTP4～9までの約60m弱と判断された。



第17図 岡村遺跡概要図



遺跡近景（東から）



TP4 土層柱状図



TP1 土層断面



TP7 土層断面



出土遺物

(10) 清水脇2遺跡 (平成4年度登録)

所 在 地 山形県村山市大字土生田字清水脇1791-4他

調 査 員 長橋 至

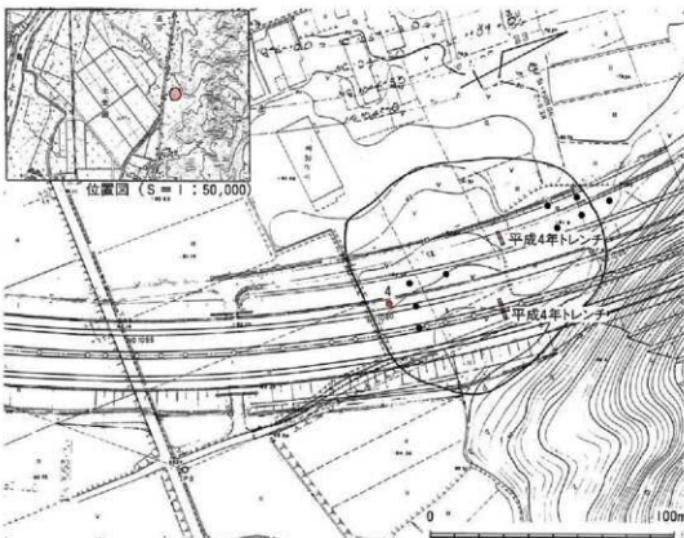
調査期日 平成5年12月22日

起因事業 国道13号山形北バイパス建設工事

遺跡環境 国道13号の尾花沢市と大石田町方面への分岐点から南東へ約250m、標高82~84mの山麓部に立地する。平成4年度に県教委試掘調査実施（トレンチ調査2カ所）。

試掘状況 今回は、平成4年度の試掘調査に追加して新たに10箇所の試掘区を設定し遺跡の状況を探った。

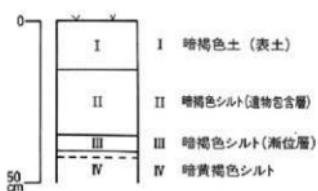
調査結果 TP4で径40cmの平面プランをもつ土壤が1基検出された。確認面は現地表から35cmの暗黄褐色土である。TP7以外では今回は明確な遺構は検出されなかった。遺跡中央部で平成4年度の調査時に縄文・平安時代の明確な遺構が検出されているため、中心部は遺跡中央部と考えられる。なお、今回の調査時は積雪1mを越える悪条件であったため、さらに綿密な試掘調査が再度必要である。



第18図 清水脇2遺跡概要図



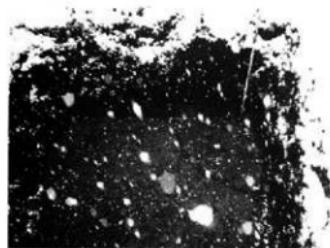
遺跡遠景（南から）



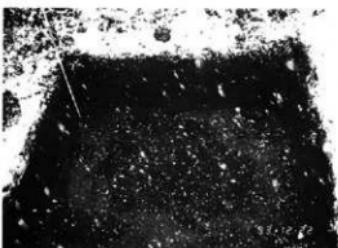
TP4 土層柱状図



調査風景



TP7 土層断面



TP4 遺構検出状況

図版21 清水脇2遺跡

(11)廻り屋遺跡（平成元年度登録）

所 在 地 山形県西置賜郡白鷹町大字石那田字廻り屋

調 査 員 長橋 至

調査期日 平成5年10月6・7日

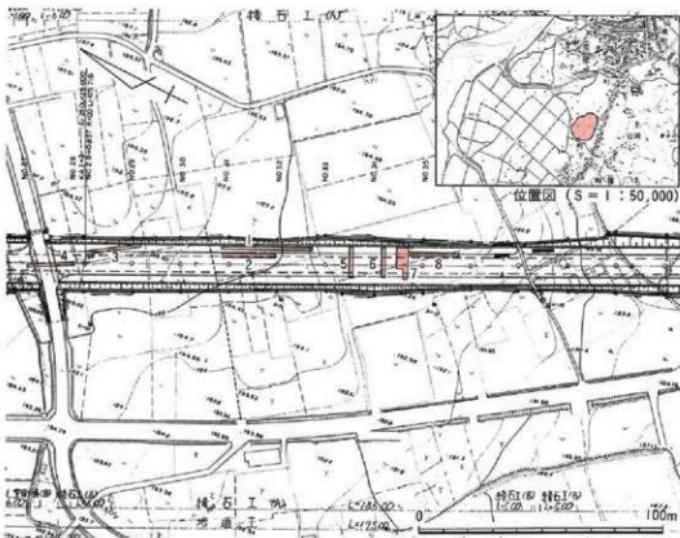
起因事業 国道287線道路改良工事（白鷹町畔藤地内）

遺跡環境 白鷹町町下地区から北西に約0.5km、最上川から東へ1kmの段丘状に立地する。遺跡範囲は東西200m・南北250m程度地目は水田、畠地となっている。遺跡の道路用地内で一部表土の削平が行われている。

調査状況 用地内に10本のトレンチを設定、重機で表土を除去した。5～8トレンチは表土の削平を受けた部分で柱穴等の遺構が調査前の段階で一部確認ができた。

調査結果 1トレンチで古墳時代の遺物（完形品）が比較的まとまって出土した。3・4トレンチでは土壤、竪穴住居跡と考えられる土色変化が、6・7トレンチでは多数の柱穴の他、焼土が検出された。5トレンチ及び6・7トレンチの西側は地形的な落ち込みが観察された。

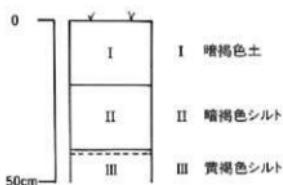
本遺跡は、古墳時代と平安時代の2時期が考えられる複合遺跡である。



第19図 廻り屋遺跡概要図



遺跡近景（南から）



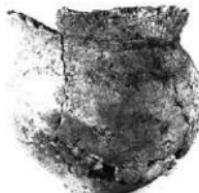
TT4 土層柱状図



TT1 遺跡検出状況



TT5 遺跡検出状況



出土遺物

図版22 窓り屋遺跡

(12)植木場一遺跡（平成2年度登録）

所 在 地 山形県南陽市大字宮崎字植木場一・町屋敷一・二・地蔵堂他

調 査 員 長橋 至

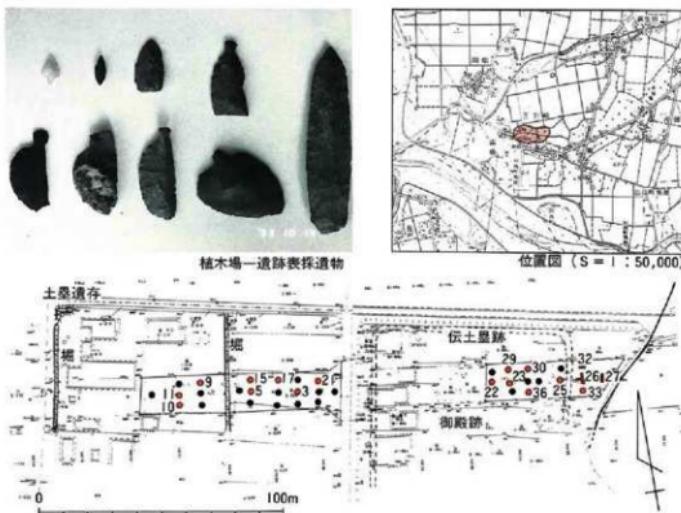
調 査 期 日 平成5年10月13・14日

起 因 事 業 一般県道南陽川西線道路改良（宮崎地区）

遺 蹤 環 境 遺跡は南陽市宮崎地区に含まれる。奈良・平安時代の遺跡として登録されたが、南陽市教育委員会の資料及び今回の調査で、さらに中世の館跡と江戸時代初期の上杉家鷹狩り時の休み所としての「御殿跡」と伝えられる場所が遺跡内に含まれることが明かとなった。さらに、地区民により縄文時代前期の石器が付近で表探されている。

調 査 状 況 遺跡内の未賈収地区を除く約2,000平米を対象に36箇所の試掘区・トレチを設定した。遺跡西側をA地区、東側の伝「御殿跡」をB地区と仮称する。

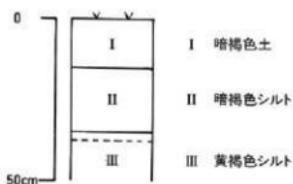
調 査 結 果 A地区ではTP 3・5・7～11・15・17・21で柱穴、土壤、平安時代の土器片・縄文時代の石器剝片が出土。B地区ではTP 24・28・31・34・35を除く試掘区から縄文・平安・中世・近世の遺構・遺物が出土した。特に、「御殿跡」では中・近世の遺物が多い傾向にある。



第20図 植木場一遺跡概要図



遺跡近景（東側・西から）



遺跡近景（神社前・東から）



TP15検出遺構



出土遺物

図版23 植木場—遺跡

(13)弓張平〇遺跡（平成4年度登録）

所 在 地 山形県西村山郡西川町大字志津字弓張平

調 査 員 長橋 至

調 査 期 日 平成5年9月28日～10月1日

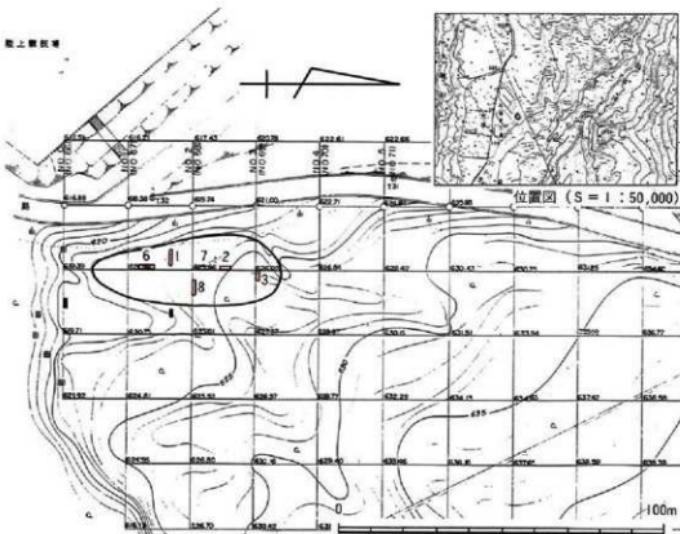
起 因 事 業 都市公園整備事業（弓張平公園）

遺 蹤 環 境 遺跡は弓張平公園内の陸上競技場すぐ東側の台地に立地し、地目は雑木林となっている。標高は623～626mを測る。平成4年度に試掘調査を実施しており、今回は範囲の確定を目的とした再調査である。

調 査 状 況 昨年度の1トレンチの完掘、および新たに6～8トレンチ3本を設定し、遺跡の状況を探った。トレンチはすべて手掘りである。

調 査 結 果 1トレンチでは、昨年の遺物出土面のさらに下層から25点の石器碎・剝片が出土した。遺構は未検出である。新たに設定したトレンチは1×4～5mであるが、遺物は全体に希薄であり、1トレンチに見られるような集中域はなかった。いづれのトレンチでも石器碎・剝片1～2点の出土であった。

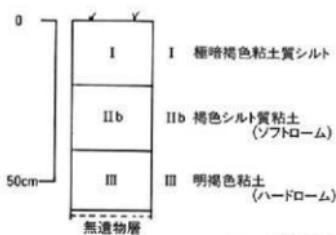
以上により、本遺跡は、昨年実施した試掘調査の結果とほぼ同じく、東西20m・南北60mの範囲と考えられる。



第21図 弓張平〇遺跡概要図



遺跡近景（南から）



TAI 土層柱状図



TT1 遺物出土状況



TT8 土層断面



出土遺物

図版24 弓張平O遺跡

(14) 河原田遺跡 (平成4年度登録)

所 在 地 山形県山形市大字今塚字河原田

調査員 長橋 至

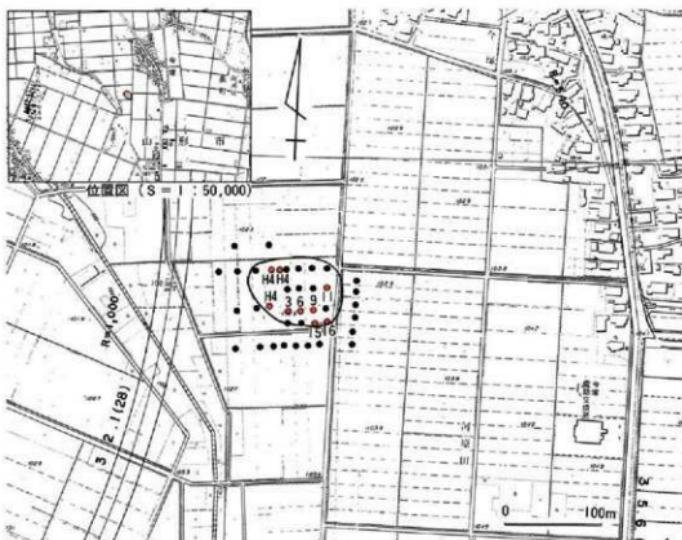
調査期日 平成5年4月22日

起因事業 住宅団地分譲事業(今塚地区)

遺跡環境 山形市今塚地区の南西300mの平地に所在する。地目は水田・畑地となっている。平成3年度に表面踏査により遺跡可能性地、平成4年度の試掘調査で新規遺跡として登録された。なお、平成5年度に、本遺跡の北200mに位置する「今塚遺跡」の緊急発掘調査が(財)山形県埋蔵文化財センターにより実施され、仁寿参年(西暦853年)六月三日銘の木簡が出土するなど、極めて貴重な成果が得られた。

調査状況 昨年実施した試掘調査時に、未調整地区として調査から除外した部分を中心<sup>に</sup>16箇所の試掘区を設定した。(図中H4:平成4年度調査)

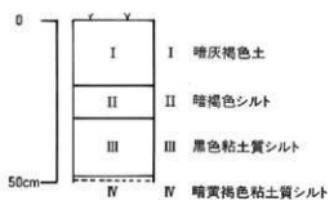
調査結果 調査対象地区の南側を中心に遺物が出土した。TP1では柱穴、TP3、16等から弥生時代の土器片、さらに平安時代の須恵器片等が出土したTPもある。昨年度の調査成果と併せ、本遺跡は、今回調査対象とした区域を中心<sup>に</sup>東西100m・南北50mの範囲の弥生時代・平安時代の複合遺跡と考えられる。



第22図 河原田遺跡



遺跡近景（南から）



TP1 土層柱状図



TP1 遺構検出状況



TP5 土層断面



出土遺物

図版25 河原田遺跡

(14) 上谷地 b 遺跡 (米沢市遺跡地図 No.0268)

所 在 地 山形県米沢市大字上谷地538他

調 査 員 渋谷孝雄

調 査 期 日 平成5年12月16日

起 因 事 業 県立米沢工業高等学校産振校舎新築工事及びグランド工事

遺 跡 環 境 遺跡はJR米沢駅の東北東約2kmに位置し、遺跡の中心部は旧羽黒川によって形成された河岸段丘上に立地する。小河川を挟んで同じ面の北側に野際遺跡があり、両遺跡とも縄文時代の遺物が散布している。

昭和56年に両遺跡の間の水田部に地権者が井戸の設置と暗渠設営工事を行ったところ、表土下2~5m付近から縄文時代後晩期の土器と丸木弓が出土したことで低湿地遺跡として注目されるようになった。

調 査 状 況 今回の調査は段丘上に中心がある上谷地b遺跡が段丘下の水田部まで延びているかどうかを確認するための調査で、段丘に近い用地内に2×135m(T1)、2×22m(T3)の南北トレンチ、2×20m(T2)の東西トレンチを設定して重機で地山までの掘り下げを行った。

調 査 結 果 T1中央のIV層(青灰色粘土)中から縄文時代晚期大洞B式の小形深鉢の完形品が出土した他、縄文土器片、石匙等が出土し、同トレンチの北部で上幅20m、深さ1.2mの旧河川が検出された。この旧河川からは遺物は検出されなかった。T2からは遺構・遺物とも未発見で、T3からはT1との交差部分から西に12mの地点まで若干の縄文土器片が出土した。

以上から、下図に示した範囲まで縄文時代の包含層が分布すると考えられた。



第23図 上谷地 b 遺跡概要図



遺跡近景



- I : 噴褐色砂混り粘土質シルト
- II : 黒褐色粘土混り青灰色細砂
- III : 黑褐色粘土
- IV : 青灰色粘土(包含層)

TTI 土層柱状図



TP 土層断面



出土遺物



出土遺物

図版26 上谷地 b 遺跡

### 3 記録保存調査・立会い調査の概要

#### (1)ソリメA遺跡 (昭和57年度登録)

所在 地 尾花沢市大字原田字ソリメ

調査 員 長橋 至

調査 期 日 平成5年6月10~17日

起因 事 業 県営ほ場整備事業(玉野第二地区)

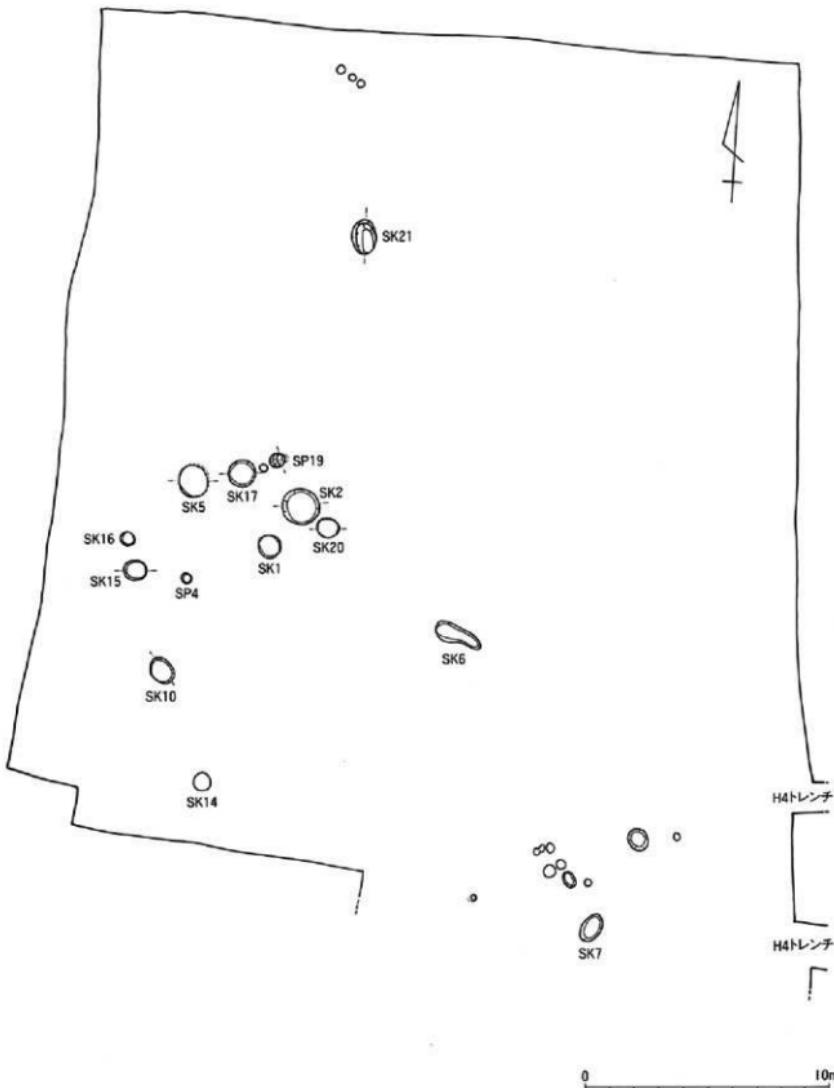
遺跡 環境 中原田地区南側水田一帯、網木川右岸の段丘上に立地する。遺跡範囲は東西100m・南北200m程、標高は約170mを測る。

調査 状 況 本遺跡については、平成4年1月に4本のトレンチによる試掘調査を実施している。その結果、遺構の集中範囲が限られること、遺構の密度が希薄なことから、工事に先行しての立ち会い調査とした。調査区は、先の調査のデータを基に、中心部分と考えられる遺跡南側に約900平米の範囲で設定し重機で表土を除去した。

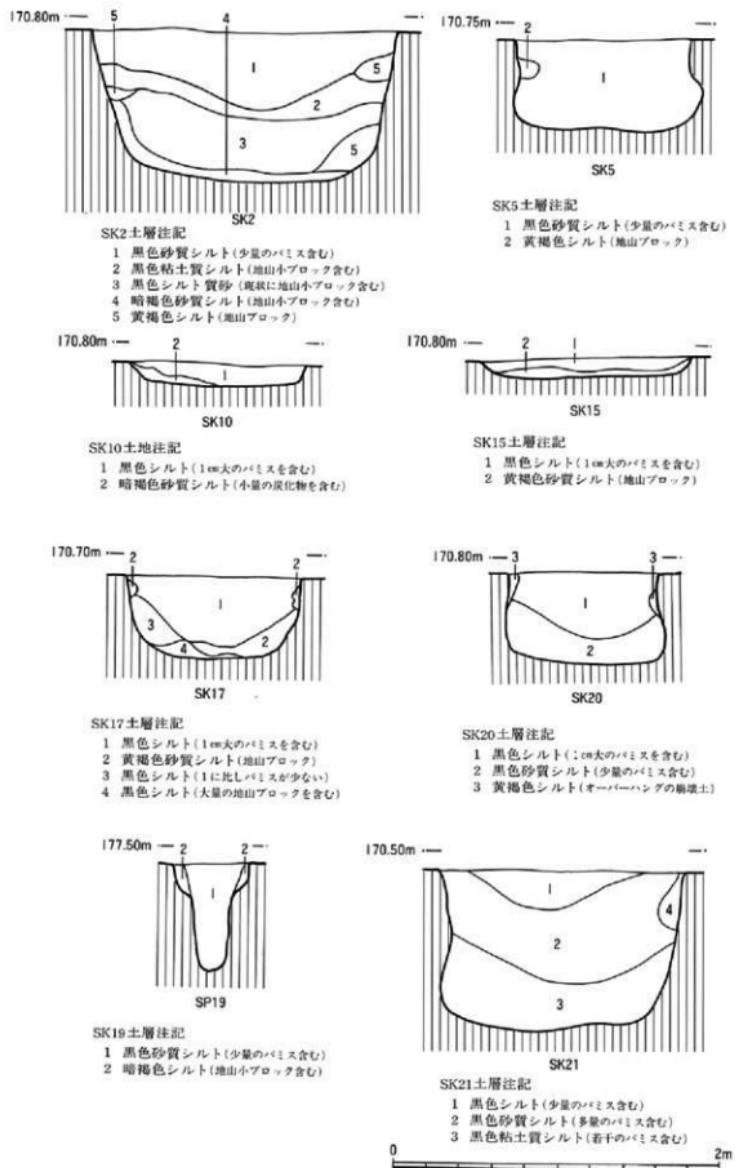
調査 結 果 土壌7基、柱穴10を検出。土壌はいづれも径100~150cm、墳底は平坦、ややオーバーハングする特徴を有する。柱穴は住居跡を構成する配置では検出されない。遺物は縄文時代前期の土器片70、凹石3、フレイク數片が出土した。



第24図 ソリメA遺跡概要図



第25図 ソリメ A遺跡遺構配置図



第26図 ソリメ A 遺跡遺構土層断面図



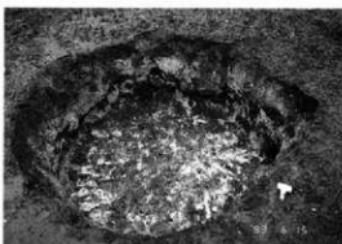
遺跡近景（北から）



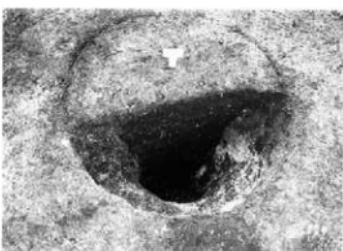
調査区実掘状況



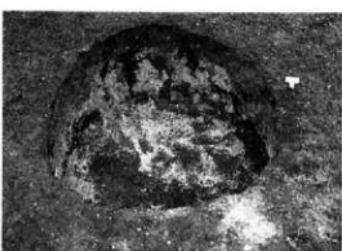
SK2土層断面



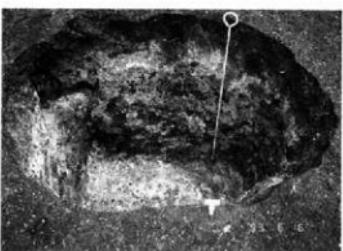
SK2実掘状況



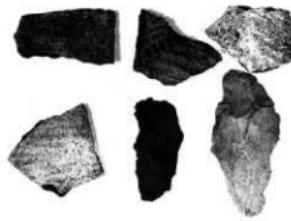
SP19土層断面



SK20実掘状況



SK21実掘状況



出土遺物

図版27 ソリメ A 遺跡

(2) 県営ほ場整備事業高瀬川地区関係遺跡

遺 跡 名 上山崎遺跡（平成4年度登録）山形県飽海郡遊佐町大字当山字上山崎

田中遺跡（平成4年度登録）山形県飽海郡遊佐町大字当山字田中

地蔵田遺跡（2,092平成4年範囲変更）山形県飽海郡遊佐町大字当山字上山崎

野瀬遺跡（平成元年度登録）山形県飽海郡遊佐町大字北目字野瀬・田屋敷

調 査 員 長橋 至・渋谷孝雄

調査期日 平成5年7月27～30日・11月4～5日

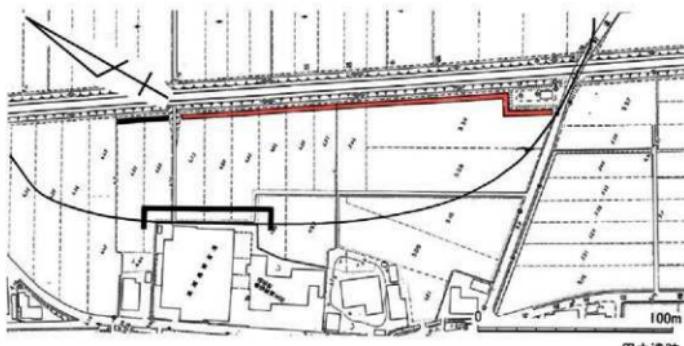
起因事業 県営ほ場整備事業（高瀬川地区）

遺跡環境 遊佐町北部、月光川左岸の水田に立地する。遺跡は隣接して所在している。

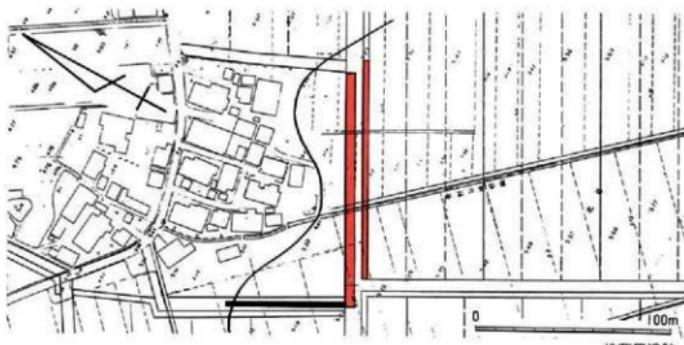
調査結果 平成5年度に実施されるほ場整備事業のうち、水路・道路の一部について立ち会い調査を行った。上山崎・田中・地蔵田遺跡では平安時代の遺物が数袋出土したが、遺構は未検出である。野瀬遺跡では、TT5・7で平安時代の土器を含む土壤、溝跡等が、TT6では性格不明の落ち込みのほか、平安時代初期の土器（須恵器）が出土した一辺2.7mの竪穴住居跡の約2分の1が、TT8では外枠3段内枠2段の井戸跡が検出された。（TT8は平成5年11月4～5日に調査実施）



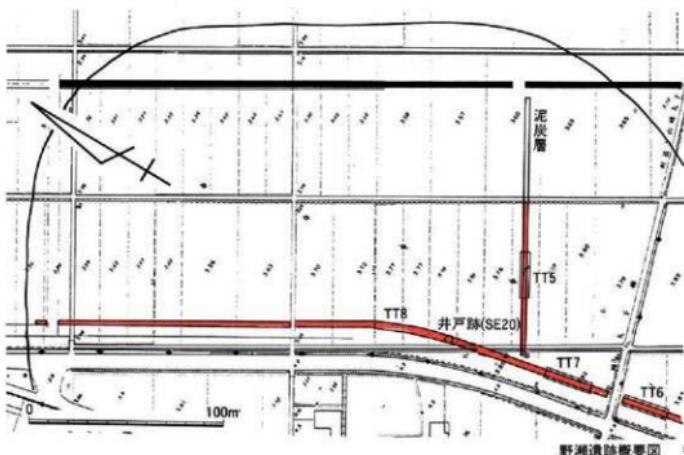
第27図 高瀬川地区立会い調査概要図(1)



田中遺跡

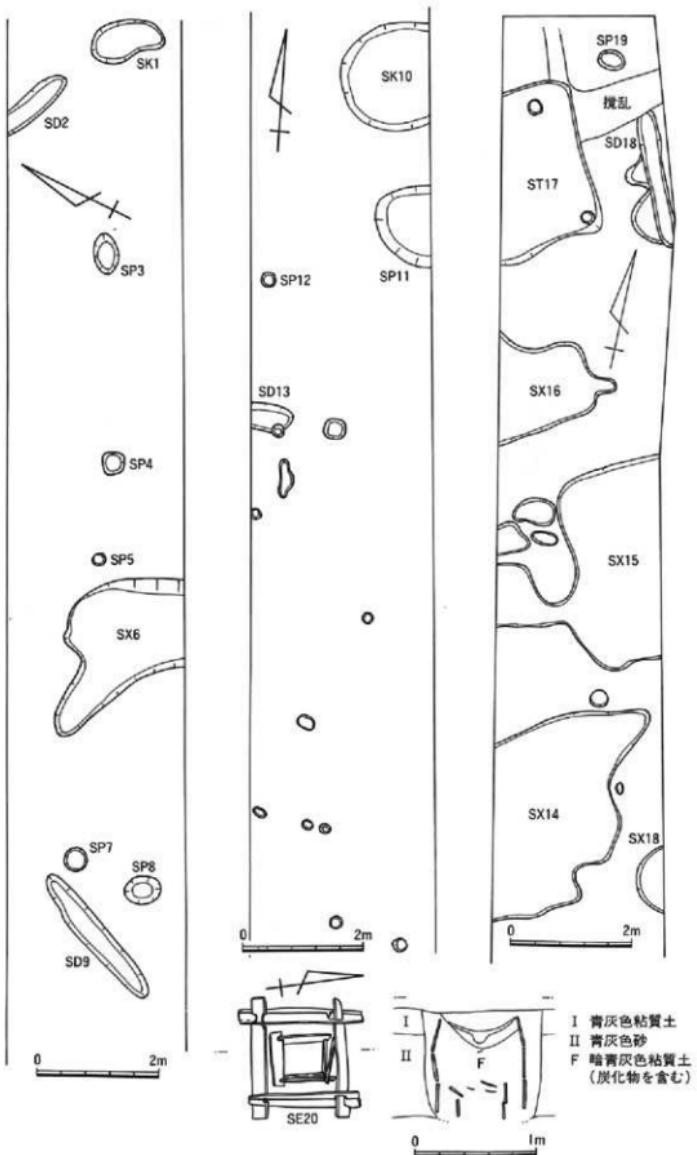


地蔵田遺跡



野瀬遺跡概要図

第28図 高潮川地区立会い調査概要図(2)



第29図 高瀬川地区立会い調査検出構造実測図



地蔵田遺跡調査風景



田中遺跡・調査風景



野瀬遺跡TT5 SK1



野瀬遺跡TT6発掘状況



野瀬遺跡TT8井戸跡発掘状況(SE20)



野瀬遺跡出土遺物



出土遺物



出土遺物

(3) 郷崎遺跡（平成4年度登録）

所 在 地 山形県酒田市大字刈穂字郷崎46他

調 査 員 渋谷孝雄

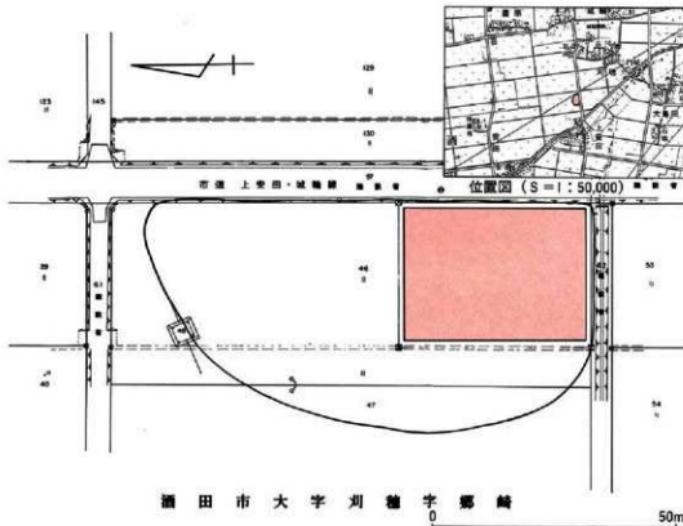
調 査 期 日 平成5年9月8～9日

起 因 事 業 農村整備総合パイロット事業庄内地区、集落排水処理場建設

遺 跡 環 境 遺跡はJR羽越本線本楯駅の南東約2.2km、国指定史跡「城輪柵跡」の外郭線南西隅より南西約200mに位置する。平成4年10月の試掘調査で登録した遺跡である。この時の調査では赤焼土器片、須恵器片が出土している。

調 査 状 況 今回の調査は処理場建設に伴って掘削が予定されている部分の調査を行って記録保存するために実施した。平成4年度の調査により当該部分に遺構が分布する可能性はほとんどないと言うことが明かとなっていたため短期間の調査となった。調査は掘削部分を重機を用いて徐々に掘り下げて、出土遺物の採取を行い、地山面まで掘り下げた。

調 査 結 果 調査の結果、IV層～V層にかけて平安時代の須恵器、土師器、赤焼土器片がボリ袋に2個分出土したが、当初予定されたとおり遺構は未発見であった。昭和55年のほ場整備によって動がされたのはIII層までで、これらの遺物はそれ以前に近隣から動いて再堆積したものと考えられる。



第30図 郷崎遺跡概要図



遺跡近景（北から）



調査風景



調査区西壁土層断面



出土遺物

(4) 小四王原A遺跡 (遺跡番号1,443)

所 在 地 山形県西置賜郡白鷹町大字高岡字内ノ塙391他

調 査 員 渋谷孝雄

調査期日 現地確認：平成5年7月22日 試掘調査：9月1～2日

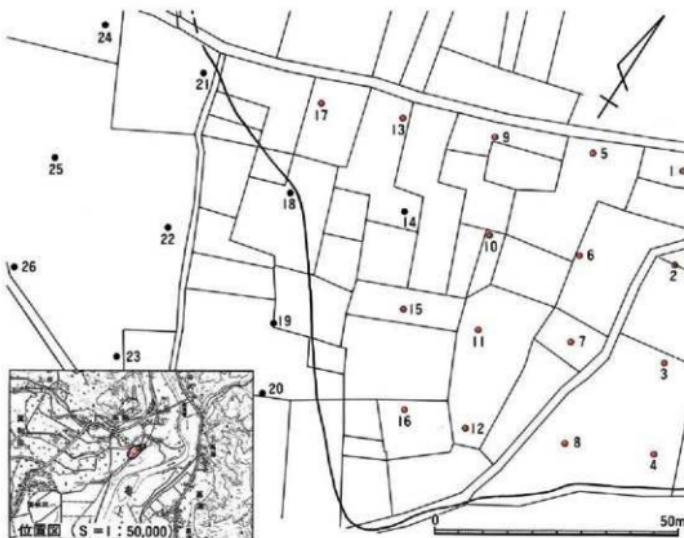
工事立会い：10月12日

起因事業 農業公社牧場設置事業（高岡地区）

遺跡環境 遺跡はフラワー長井線荒砥駅の北方約1.3kmに位置し、最上川の形成した河岸段丘上に立地する。昭和47年に浄水場の建設に伴う緊急発掘調査が白鷹町教育委員会によって行われ、縄文時代中期の竪穴住居跡が検出され、浄水場内の一角に竪穴住居が復元されている。

調査状況 今回の調査は桑畑から牧草地にする工事との調整のために実施したもので、開発予定地内における遺跡の範囲と遺物包含層、造構確認面までの深さを把握し工事計画を変更するための資料を得ることを目的とした。1×1mの試掘坑を20mおきに設定し地山までの掘り下げを行った。

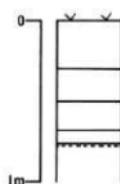
調査結果 調査の結果、25箇所の試掘坑のうち16箇所で縄文時代中期の遺構や遺物が検出され、概ね地表下30cmまでは搅乱を受けた表土であることが明かとなった。この結果を踏まえ、工事は30cm以内の範囲での土の移動に限定するという協議が整い、遺跡は現状保存となった。



第31図 小四王原A遺跡概要図



遺跡近景（北から）



- I : 黒褐色砂礫混シルト
- I b : 哈褐色砂礫混シルト
- II : 黒色砂質シルト
- III : 哈褐色砂礫
- IV : 黄褐色砂礫（地山）

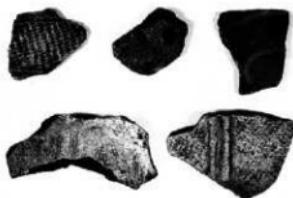
TP5土層柱状図



TP3土層断面



小四王原遺跡復元住居



出土遺跡

図版30 小四王原A遺跡

(5) 下柳 A 遺跡 (遺跡番号152)

所 在 地 山形県山形市大字青柳字上柳

調 査 員 渋谷孝雄 長橋 至 (4月21日)

調査期日 試掘調査: 平成5年4月21日 5月20~21日

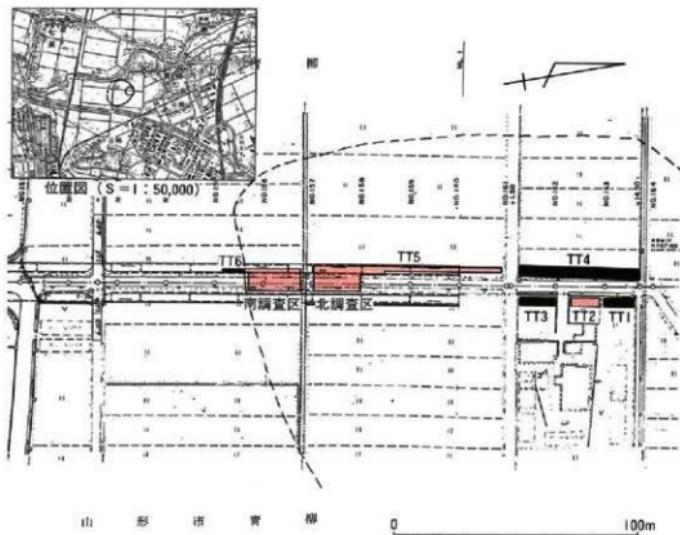
記録保存: 7月12~23日 (実質9日間)

起因事業 主要地方道山形天童線道路改良

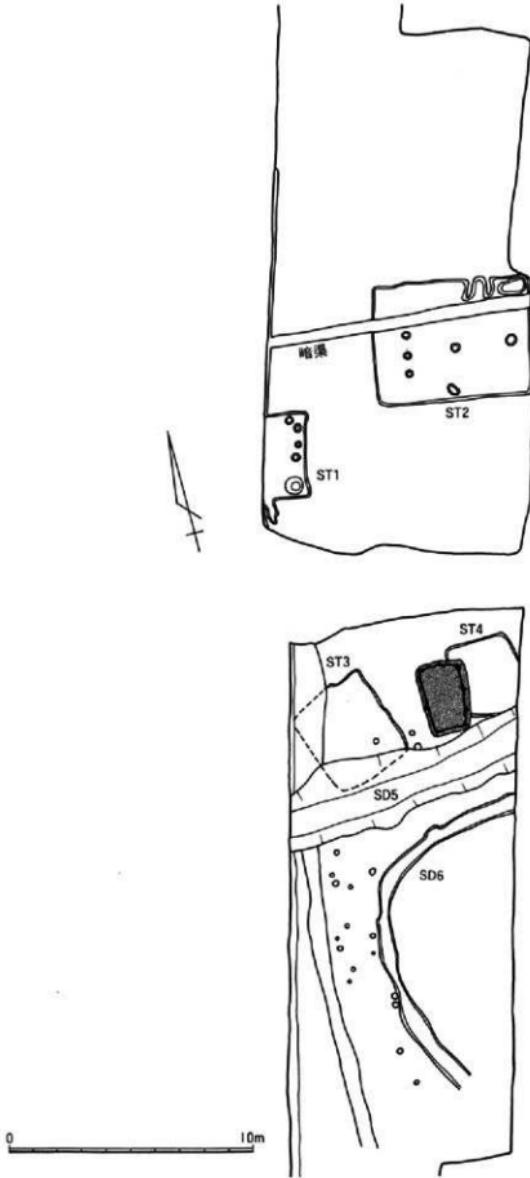
遺跡環境 遺跡はJR奥羽本線羽前千歳線の北北東方約1.2kmに位置し、高瀬川の形成した自然堤防上に立地し、標高は107mを測る。

調査状況 4月の調査は予定路線の近接し下柳遺跡(五輪塔)が登録されていたため、以前からの協議により、試掘で有無の確認を行うことを目的として行ったが、中世の墳墓ではなく、下柳A遺跡の西方で古墳時代の遺物が出土することが明かとなつたため、5月に範囲確認のため、重機を用いて試掘調査を実施した。その結果、計画路線内に部分的に古墳時代の集落があることが判明したため、その部分について記録保存の発掘調査を実施することとなったものである。

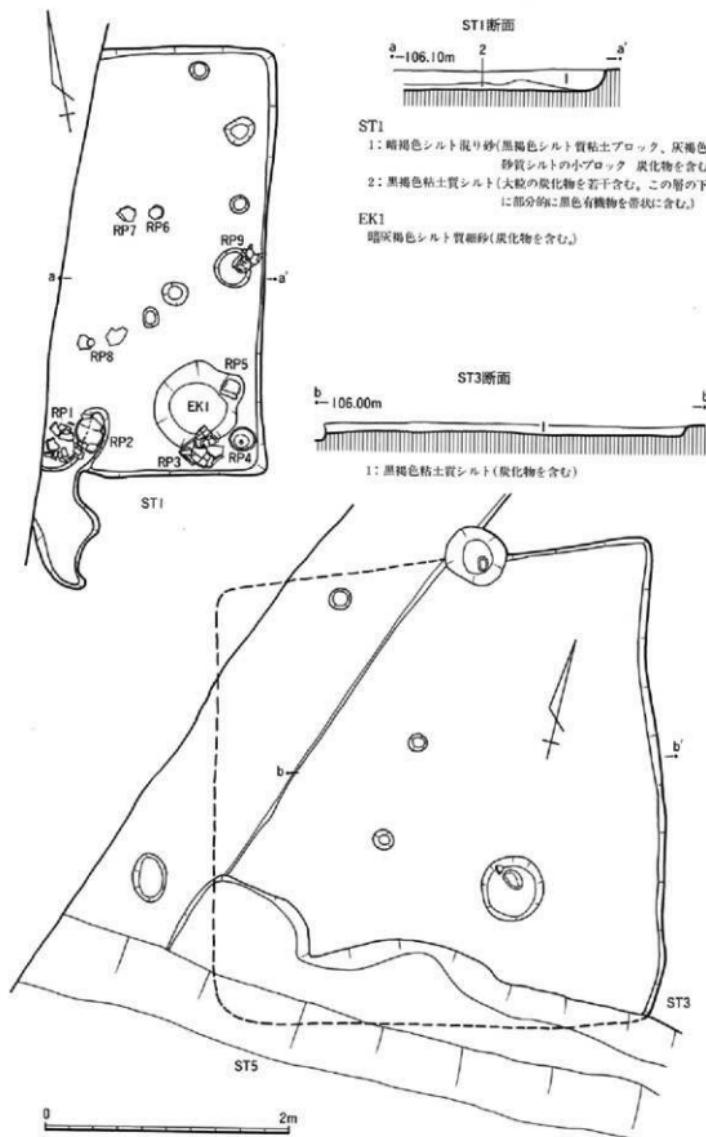
調査結果 調査の結果、東西に延びる幅約30mの自然堤防上で4軒の古墳時代の竪穴住居跡を検出した。このうち、ST1から土師器の壺、甑、壺、碗が9個体、ST2からは碗、壺各1個体と砥石、ST3、4からは須恵器の甕等が出土した。これらの土器は古墳時代中期の南小泉II式の範疇で捉えられる。



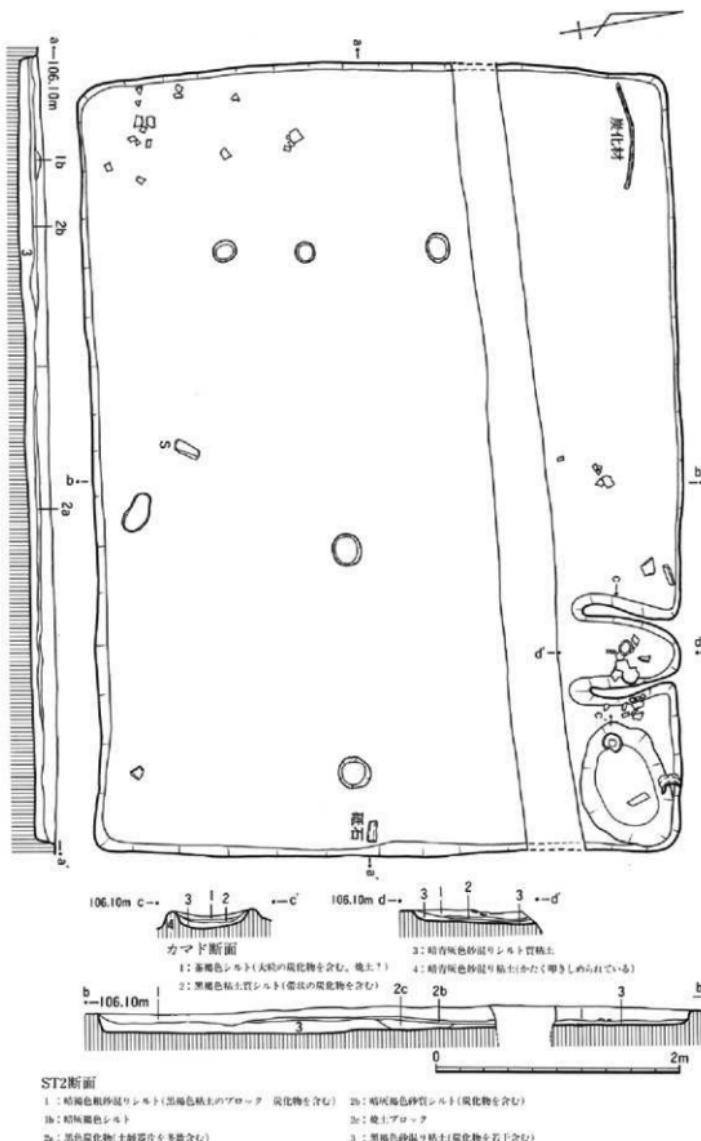
第32図 下柳 A 遺跡概要図



第33図 下柳 A 遺跡遺構配置図



第34図 下柳A遺跡遺構実測図(1)



第35図 下柳 A 遺跡遺構実測図(2)



遺跡近景



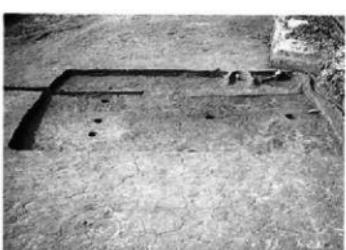
ST1完掘状況



ST1土器出土状況



ST1土器出土状況



ST2完掘状況



ST2カマド



ST3完掘状況



ST4完掘状況

図版31 下柳A遺跡(Ⅰ)



ST4土器出土状况



SD6完据状况



出土遗物



出土遗物



出土遗物



出土遗物



出土遗物



出土遗物

图版32 下柳 A 遗迹(2)

(6) 小川内遺跡 (遺跡番号152)

所 在 地 山形県最上郡真室川町大字大沢字悪次郎2,029他

調 査 員 渋谷孝雄 杉山純一他

調査期日 試掘調査: 平成5年9月22日

記録保存: 11月24日~12月3日 (実質8日間)

起因事業 一般県道砂子沢小又釜瀬停車場線凍害防止工事

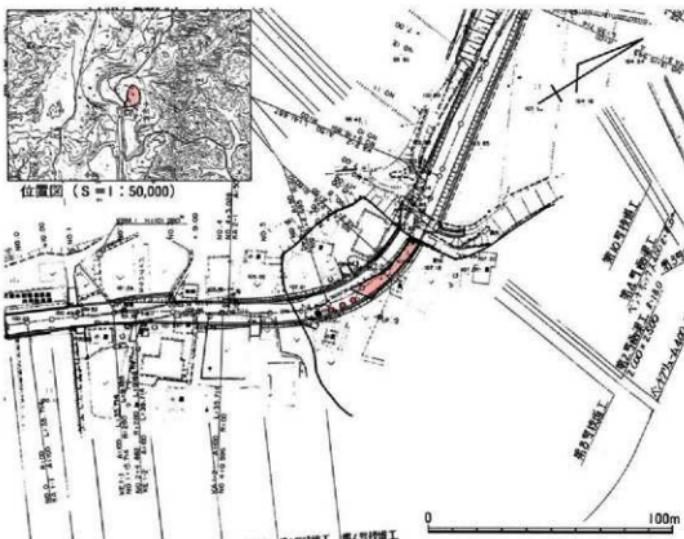
遺跡環境 遺跡はJR奥羽本線真室川駅の北西方約4kmに位置し、小又川の形成した独立丘上の河岸段丘(残丘)上に立地する。標高は107mを測り、地目は畠地、宅地、水田、墓地等となっている。

試掘調査 調査は道路拡幅予定地内にほぼ5mおきに、1×1mの試掘坑を10箇所設定し地山までの掘り下げを行った。

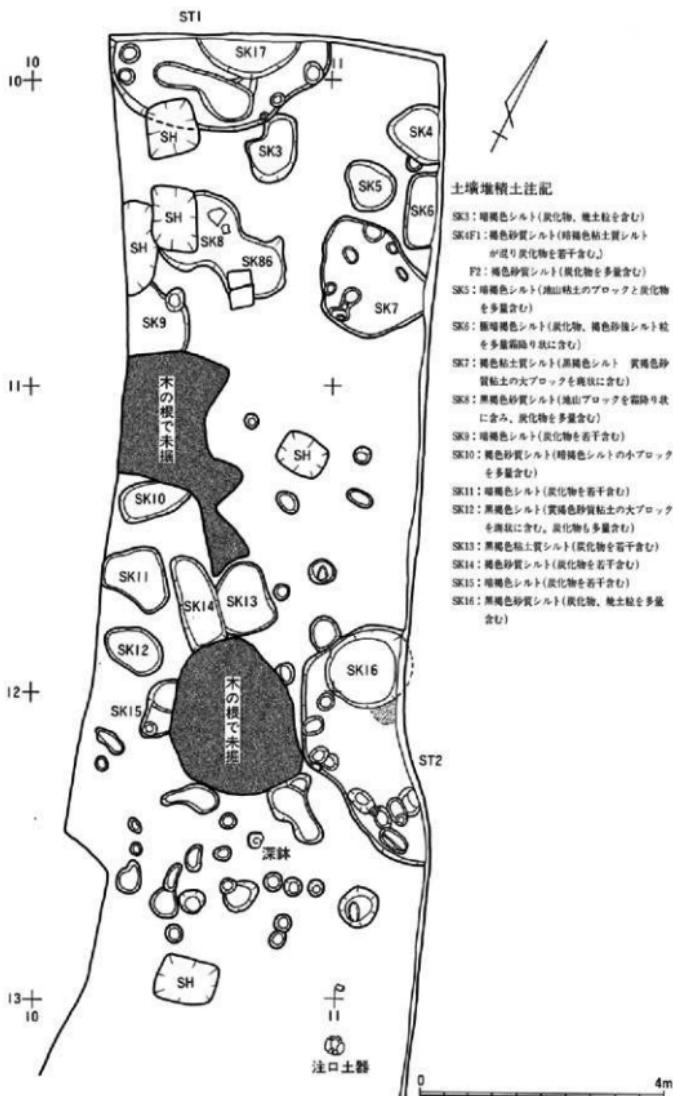
この結果、TP1を除く各試掘坑で縄文時代後期から晩期にかけての土器片と石器が出土し、遺構と考えられる土色変化も確認された。

この結果をもとに事業主体の県土木部と協議を行った結果、道路拡幅で破壊される恐れのある部分を対象として記録保存の措置を取ることとなった。

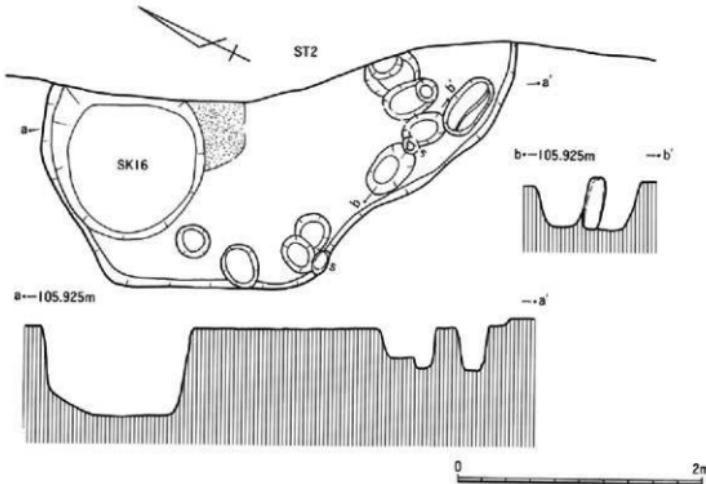
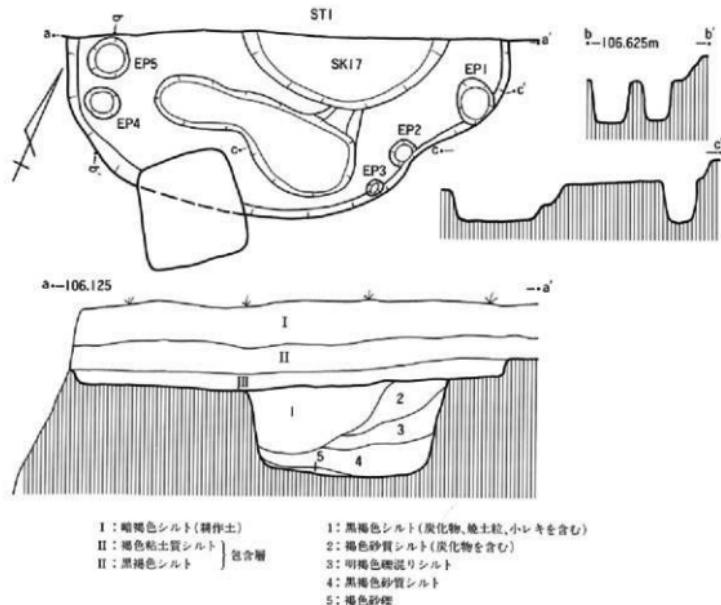
発掘調査 発掘調査はバックホーで約25cmの表土を除去したあと、手掘りで遺物包含層の掘り下げを行った。包含層は20~35cmの厚さがあるが、X10・Y15より南側は極端に遺物量が少なく、部分的な掘り下げでも遺構が検出されなかった。



第36図 小川内遺跡概要図



第37図 小川内遺跡遺構配置図



第38図 小川内造構実測図

ことと、時間的な制約もあったためこの部分の調査を断念し、調査区北部の遺構密集地の精査を中心とせざるを得なかった。

検出した遺構は竪穴住居跡2軒、土塙15基、ピット約30基である。

竪穴住居跡は2軒とも部分的な検出となっており、プランは両者とも略円形で推定直径4m前後と考えられる。ST1は調査区の北端で検出したもので、確認面からの深さは16~27cmを測る。周壁に沿って合わせて5基のピットが検出された。ピットの深さは5~34cmでP1、4、5が30cm以上の深さとなっている。なお、この床面で深70cmの土塙SK17が検出された。ST2は調査区の南東部で検出した。確認面からの深さは5~12cmで、床面の周壁に沿って9基のピットが検出された。14~39cmで立石の入ったものもある。この床面でも深さ65cmの土塙が確認された。ST1・2とも炉跡は確認できなかった。

土塙は円形もしくは梢円形を基調としながらも不整形なものが多く、深さ等もまちまちである。土塙の中には明らかに繩文時代後期の所産と考えられるものがある。

遺物は包含層、遺構内から合わせて整理箱で23箱分が出土した。繩文時代後期前葉と後葉及び晩期前半のものがあり、石器は磨製石斧、石鎌、磨石、凹石がある。



遺跡近景（北から）

図版33 小川内遺跡（Ⅰ）



調査区実様状況



土器出土状況(13-11区)

図版34 小川内遺跡(2)



ST1他完掘状況



ST2他完掘状況



SK4-7完掘状況



ST2・SK16完掘状況



I2-10G遺構完掘状況



出土遺物



出土遺物



出土遺物

圖版35 小川内遺跡(3)

(7) 大浦C遺跡（米沢市遺跡番号381）

所 在 地 山形県米沢市中田町字大浦

調 査 員 渋谷孝雄

調査期日 試掘調査：平成5年6月1～2日

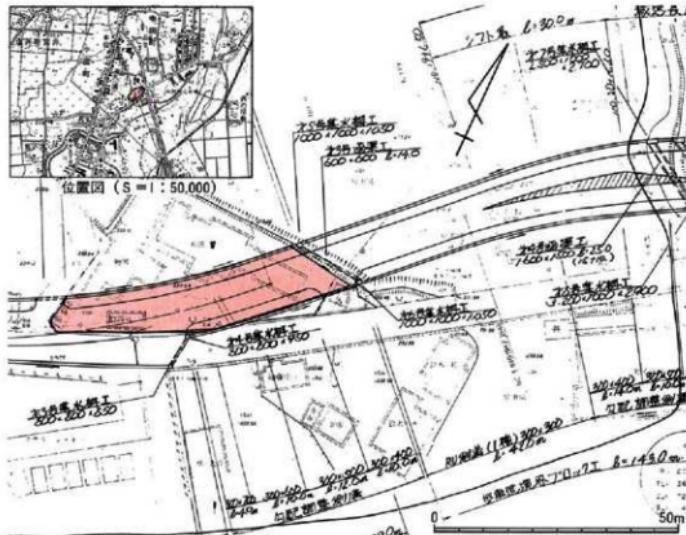
記録保存：6月23日～7月1日（実質7日間）

起因事業 一般県道米沢浅川高畠線緊急地方道整備事業

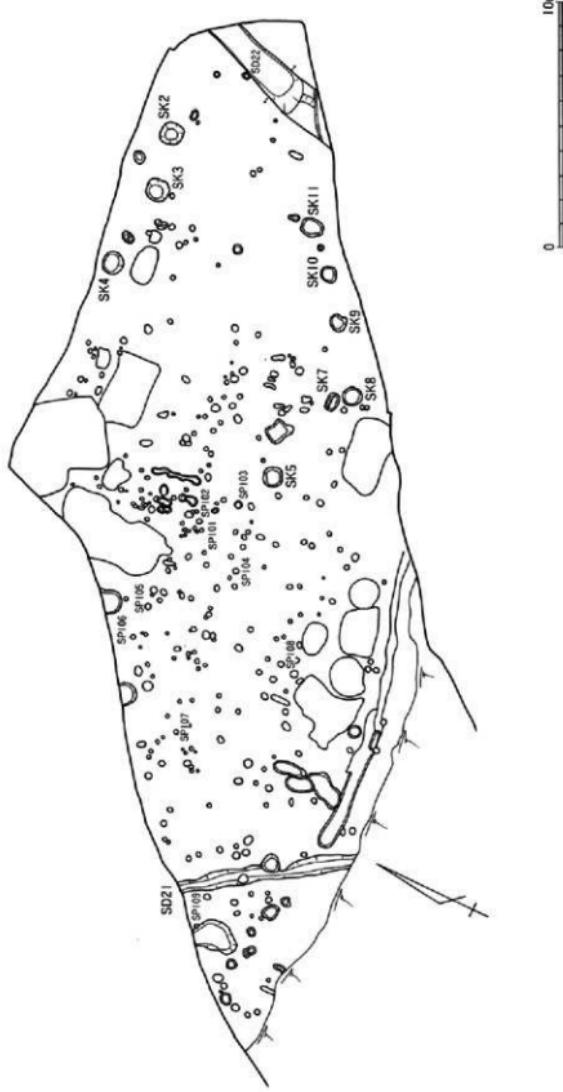
遺跡環境 遺跡は米沢市役所の北北東方約2kmに位置し、最上川の形成した河岸段丘上に立地する。標高は233mを測る。具注層の漆紙文書が出土し、奈良時代の郡衙と推定されている大浦B遺跡の東に隣接する。過去に農業関連及び宅地開発に伴って米沢市教育委員会の手による発掘調査が行われ、奈良時代と中世の遺構が検出されている。

調査状況 試掘調査は予定路線内を対象に重機を使用して実施した。この結果、時期は不明であるものの土壌数基と、多数のビットが検出されたため、記録保存の発掘調査を実施することとなった。

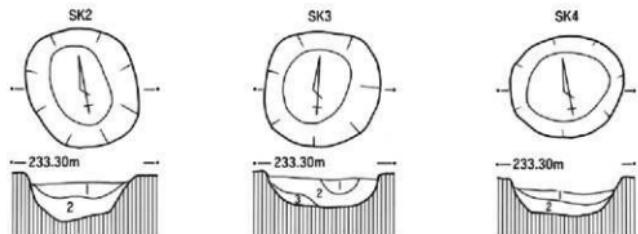
調査結果 調査の結果、古代に遡る可能性のある溝S D21と近世から近代の所産と考えられる土壌10基、大溝1条、溝1条とビット約220基が検出されたが、市教委の調査区の南に隣接する地域でありながら古代及び中世の遺構は未検出であった。遺物は呉須と輸入コバルトを使用した磁器片がポリ袋に3袋出土した。



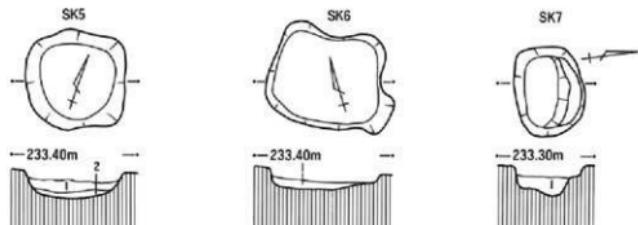
第39図 大浦C遺跡概要図



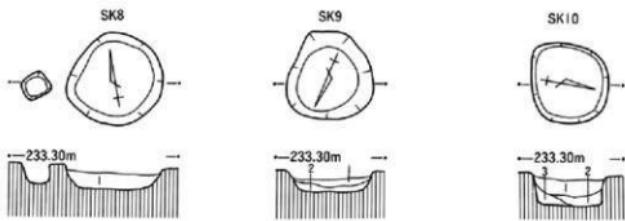
第40図 大浦C遺跡遺構配置図



- 1: 10YR2/1 黒褐色粘土質シルト(10Y5E/0 黄褐色粘土1)の  
ブロックを若干含み、しまりなくややぬかるい。  
2: 10YR3/1 黑褐色粘土質シルト(ほぼ純粹)。
- 1: 10YR2/2 黒褐色シルト質粘土(①のブロックを含む)  
2: 10YR2/2 黑褐色粘土質シルト(①のブロックを含む)  
3: 2にさらに大きな①のブロックを含む。
- 1: 10YR2/1 黑褐色粘土質シルト  
(地山)①のブロックを含む。  
2: 10YR3/1 黑褐色粘土質シルト



- 1: 10YR2/1 黒褐色粘土質シルト(①のブロックを露出り抜に含む)  
2: 10YR2/2 黑褐色シルト質粘土(①の大ブロックを露出に  
含む)。
- 1: 10YR2/1 黒褐色粘土質シルト(①のブロックを露出り抜に  
含む)。
- 1: 10YR3/1 黑褐色シルト質粘土  
(②を若干含む)。



- 1: 10YR2/2 黑褐色粘土質シルト(ほぼ純粹)。
- 1: 10YR3/2 黑褐色シルト質粘土(②を斑状に含む)  
2: 10YR2/2 黑褐色シルト質粘土(ほぼ純粹)。
- 1: 10YR1/1 黑色シルト(炭火物を多量含む)  
2: 10YR2/1 黑褐色粘土質シルト(炭化物を若干含む)  
3: 10YR2/2 黑褐色シルト質粘土(ほぼ純粹)。



第41図 大浦C遺跡遺構実測図



遺跡近景（南西から）



調査区全景



調査区発掘状況



調査区発掘状況



SK5土層断面



SK7土層断面



出土遺物



出土遺物

図版36 大浦C遺跡

(8) 藤島城跡 (遺跡番号1,716)

所在地 山形県東田川郡藤島町大字藤島字古橋跡

調査員 渋谷孝雄

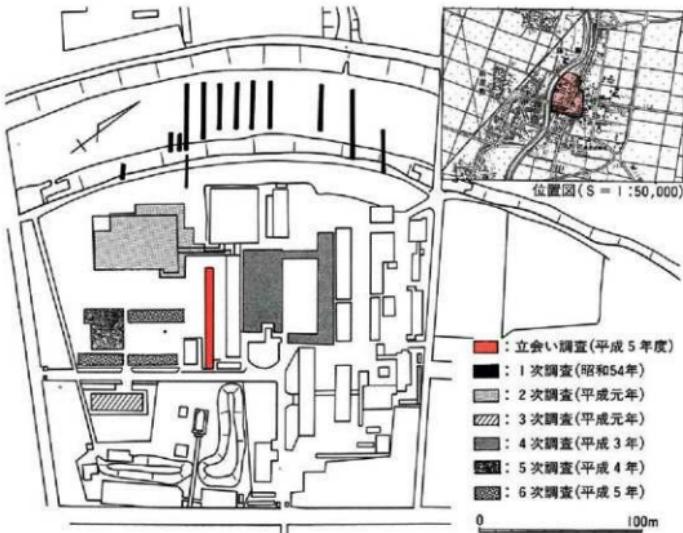
調査期日 立会い調査: 平成5年10月4~5日

起因事業 山形県立庄内農業高等学校自転車置場設置工事

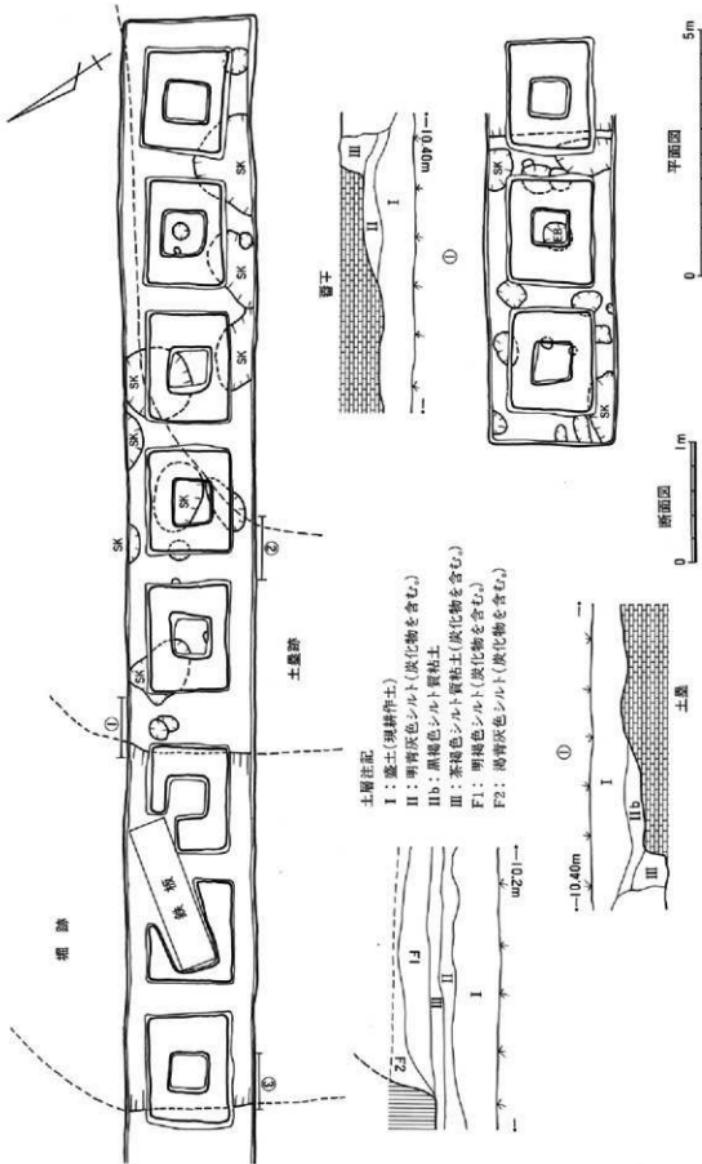
遺跡環境 遺跡はJR羽越本線藤島駅の東方約500mの藤島川右岸に位置する。平成5年度まで河川改修や庄内農業高等学校の整備等に伴い6次の発掘調査が行われ、15~16世紀を中心とする城跡であることが確認されている。

調査状況 今回の立会い調査は自転車置場の設置に伴って実施されたもので、過去の発掘調査や試掘調査の結果によるデータを検討した結果、事業による掘削が遺構確認面に及ばないと判断されたが、平面的な位置が本丸堀跡にあたることが確実視されたため、その検証を目的として実施した。

調査結果 調査の結果、土壌の一部と堀跡と考えられる落込みを確認でき、本丸の北西隅となることが明かとなった。また、今回の調査で本丸の規模が確定し、本丸内部はトレンチャーによる現代の搅乱が著しいものの、土壌等が密集して存在する様相が明かとなり、堀の外側は概して保存状況が良く明確な遺構が残っていることが確認された。なお、当初の予測どおり、今回の工事は遺構確認面には及ばないことが判明した。



第42図 藤島城跡概要図



第43図 藤島城跡遺構配置図



第44図 藤島城跡概要図



遺跡近景（東から）



南トレンチ遺構検出状況



北トレンチ掘跡断面



北トレンチ遺構検出状況



トレンチ交差部分遺構検出状況



南トレンチ遺構検出状況



遺構検出状況



出土遺物

(9) 生石 2 遺跡 (遺跡番号2,060)

所 在 地 山形県酒田市大字生石字登呂田

調 査 員 渋谷孝雄

調査期日 平成5年9月10日

起因事業 酒田警察署東酒田駐在所建設

遺跡環境 遺跡はJR羽越本線酒田駅東方約8km、出羽丘陵の山麓部に位置し、矢流川等による小規模な扇状地に立地する。国道345号線道路改良、県営は場整備、酒田農協東平田支所建設等の事業に伴い山形県教育委員会及び酒田市教育委員会によって、合わせて6回の発掘調査が行われ、弥生時代前期・中期、奈良・平安時代の大規模な遺跡であることが明かとなっている。

調査状況 今回の調査は山形県警察本部及び酒田市の手続きミスにより駐在所が遺跡内に建設されたことによる事後調査であり、駐在所用地内に1×2mのトレンチを6本設定し、遺構遺物の分布状況と駐在所建設によってどの程度の影響を受けたかを調査し、周辺部を含めた今後の開発計画に対処するための資料を得る目的で実施したものである。

調査結果 調査の結果、各トレンチから平安時代の土器片が整理箱に1箱分出土した、旧河川の一部も検出された。遺物包含層以下は良く残っており、浄化槽設置部分を除き駐在所の基礎も遺構確認面には及んでいないことが明かとなった。



第45図 生石 2 遺跡概要図



調査風景



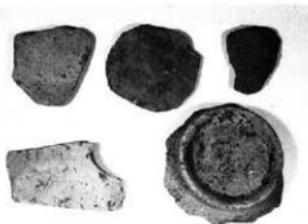
土層柱状図



TT3土層断面



TT4土層断面



出土遺物

図版38 生石2遺跡

### III　まとめ

平成5年度の遺跡詳細分布調査は、平成6年度以降に予定されている開発事業に先行して、遺跡の所在・範囲・性格を明らかにし、開発事業との調整を図ることを目的として実施した。また、一部記録保存のための小規模な発掘調査と立ち会い調査も実施した。

調査遺跡は58カ所を数える。そのうち、新たに発見され、登録した遺跡は3遺跡（中世城館跡）である。また、A調査やB調査・立ち会い調査により、遺跡の位置・範囲・遺跡名の訂正（または抹消）が必要となったものは5遺跡である。以下にその一覧を掲げてまとめとする。

なお、本書の発行をもって、新規遺跡および訂正等が周知されたものとみなす。

#### 1. 新規発見遺跡

(遺跡名)	(所 在 地)	(時 代)
1 志田館	東置賜郡高畠町大字二井宿	中世
2 檜橋館	飽海郡平田町大字檜橋	中世
3 嶽の腰5遺跡	飽海郡遊佐町大字杉沢字嶽の腰	縄文時代

#### 2. 範囲・位置・登録抹消を要する遺跡

(遺跡名)	(内 容)	(備 考)
1 月岡台の倉持跡	範囲の訂正	平成5年3月「分布調査(20)」
2 下柳A遺跡	範囲の訂正	昭和53年3月「山形県遺跡地図」
3 八反遺跡	位置の訂正	昭和53年3月「山形県遺跡地図」
4 小倉山遺跡	登録抹消	平成4年3月「分布調査(19)」
5 南野B遺跡	登録抹消	平成5年3月「分布調査(20)」

表一3 掘載遺跡位置図（2万5千分の1）索引

	遺 跡 名	地 図 名		遺 跡 名	地 図 名
1	堰場遺跡	糠の目	26	中丸遺跡	長井
2	小出沢A・B・C遺跡	羽黒山	27	岩ヶ山遺跡	長井
3	八反遺跡	谷地	28	小倉山遺跡	羽後観音寺
4	長瀬本楯遺跡	谷地	29	西の川遺跡	湯の浜
5	渡戸遺跡	天童	30	宮の前遺跡	富並
6	荒井原窯跡	天童	31	家根合遺跡	藤島
7	白山堂遺跡	延沢	32	嶽の腰5遺跡	湯ノ台
8	下原a遺跡	米沢東部	33	月岡台の倉掘跡	本導寺
9	鰐ヶ越戸洞穴	赤湯・二井宿	34	横岫櫛跡	本導寺
10	志田館跡	二井宿	35	水沢館跡	本導寺
11	檜橋櫛跡	余目	36	石倉館跡	本導寺
12	外久保遺跡	舟形	37	岡村遺跡	下名川
13	新町後遺跡	舟形	38	清水駒2遺跡	延沢
14	富沢I遺跡	左沢	39	廻り屋遺跡	荒砥
15	徳田山遺跡	余目	40	植木場一遺跡	羽前小松他
16	天神山遺跡	山形南部	41	弓張平0遺跡	本導寺
17	下柳A遺跡	山形北部	42	河原田遺跡	山形北部
18	梨ノ木遺跡	左沢	43	上谷地b遺跡	米沢東部
19	滝ノ沢遺跡	左沢	44	ソリメA遺跡	尾花沢
20	八反稻干原遺跡	谷地	45	高瀬川地区立会い遺跡	吹浦
21	鷹の巣館跡	海谷・尾花沢	46	郷崎遺跡	羽後観音寺
22	吹屋敷遺跡	米沢	47	小四王原A遺跡	荒砥
23	宝殿神社遺跡	米沢	48	小川内遺跡	大沢
24	金谷櫛跡	米沢東部	49	大浦C遺跡	糠の目他
25	大代原遺跡	米沢	50	藤島城跡	藤島
			51	生石2遺跡	羽後観音寺他

地図名:国土地理院発行（2万5千分の1）

---

山形県埋蔵文化財調査報告書194集  
分 布 調 査 報 告 書 (21)

平成5年度以降農林・土木事業他関係遺跡

国営農地開発事業鳥海南麓地区関係遺跡

東北横断自動車道酒田線関係遺跡

---

平成6年3月25日 印刷

平成6年3月30日 発行

発行 山形県教育委員会

印刷 山形印刷株式会社

---